

# 島本町立第一中学校 授業研究会

## ～「探究学習」及び「非認知能力」の育成と「自学自習力」の向上～

令和7年12月5日(金)

大阪教育大学 辻本 堅二

# はじめに

# アントレプレナーシップ 起業体験

・クラスの班ごとに企画書（解決に貢献したい社会課題、起業の内容、利益をどのように活用するか）を作成

・班ごとにプレゼン → 採択 → クラス単位で取り組む

※大阪教育大学附属池田中学校 2年生の実践より（映像は令和7年10月24日）

池田地区が考える「アントレプレナーシップ」は、「発想力」「チャレンジ精神」「行動力」「自責思考」「忍耐力」であり、

それら資質・能力をもとに、国や文化を超えたグローバルな視点で世界や社会の課題を解決すべく、

未来志向の新たな価値観を創造し、社会を改革するグローバルリーダー（社会を牽引する実力ある探究人）の輩出をめざしている。

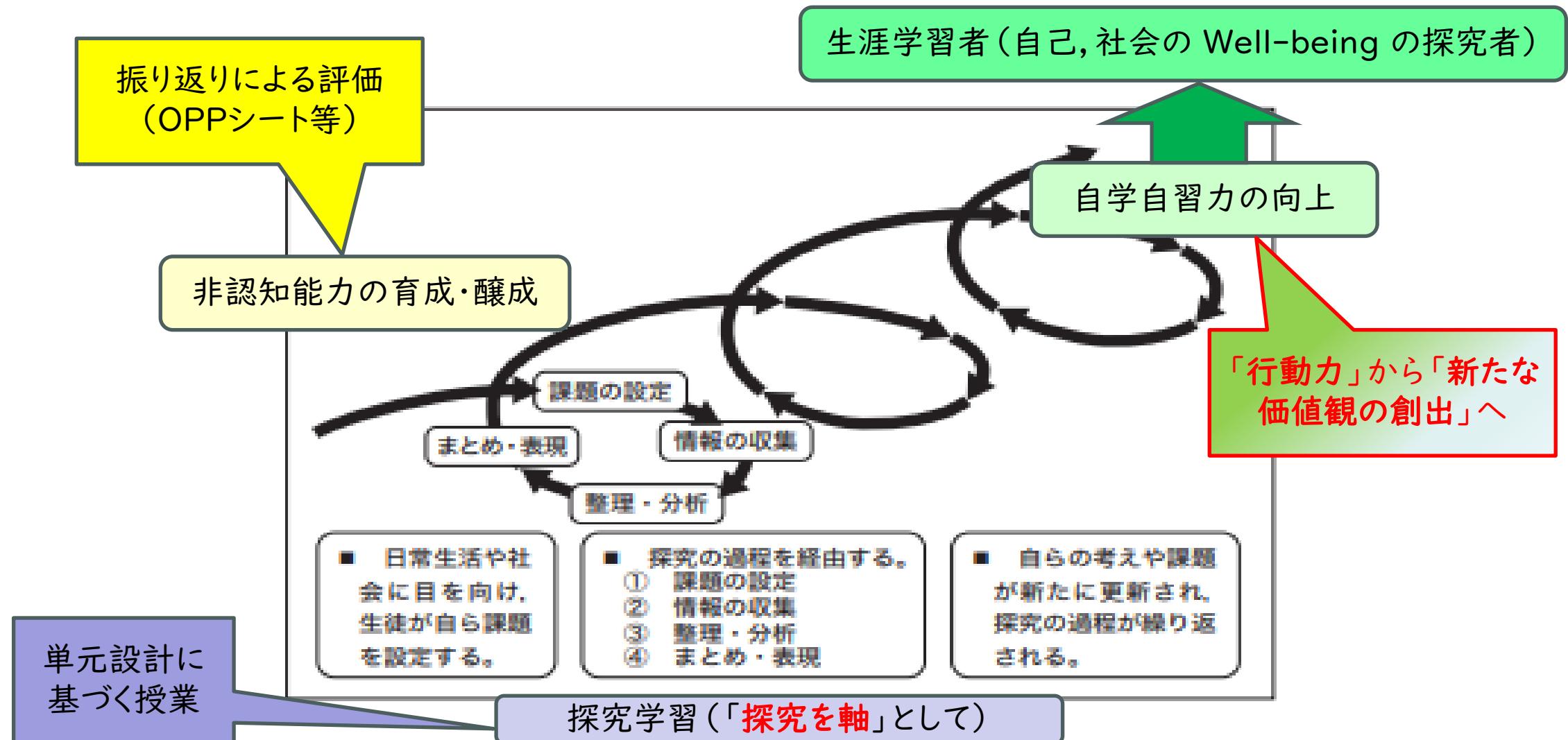
目的：新たな価値観の創出

自己肯定感　自己有用感

手段：社会貢献活動（起業体験）

「発想力」「チャレンジ精神」「行動力」「自責思考」「忍耐力」

# 「探究学習」及び「非認知能力」と「自学自習力」の構造



参考：「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示） 総合的な探究の時間編解説」文部科学省、平成 30 年 7 月

# Contents

- ・はじめに ～「アントレプレナーシップ」の視点～
  - － 目的は「新たな価値観の創出」  
「探究学習」「非認知能力」「自学自習力」の構造化
- ・現状課題と次期学習指導要領に向けた基本的な考え方
- ・深い学びにつながる単元設計
  - － 逆向き設計 見方・考え方 単元設計
- ・学習評価の考え方と非認知能力の見取り
  - － 新たな学習評価の考え方
  - － 非認知能力の見取り(試案)
- ・さいごに

# 現状課題と次期学習指導要領に向けた基本的な考え方

# 論点整理①（教育課程企画特別部会 令和7年9月25日）



教育課程企画特別部会

## 論点整理

令和7年9月25日  
中央教育審議会  
教育課程企画特別部会

令和7年9月25日

中央教育審議会 教課程企画特別部会  
から

## 「論点整理」

### 目次

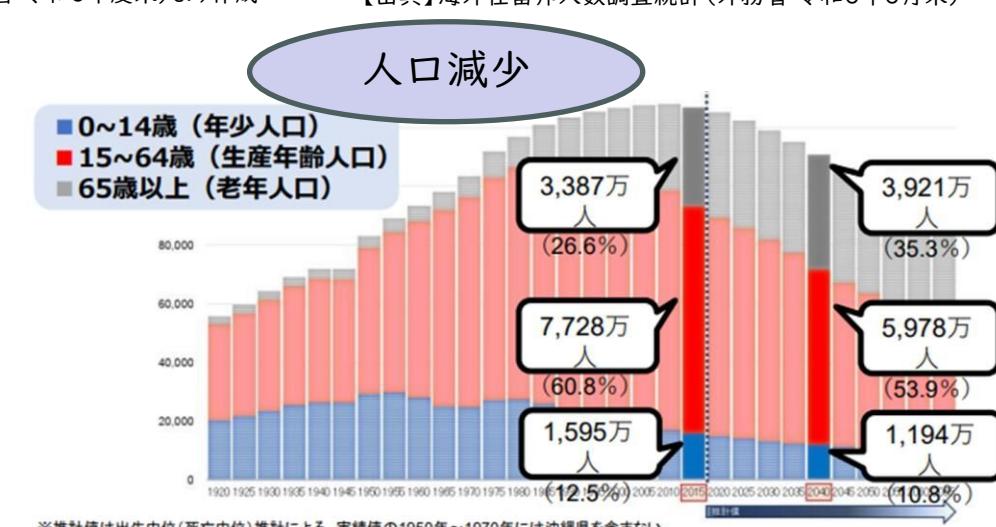
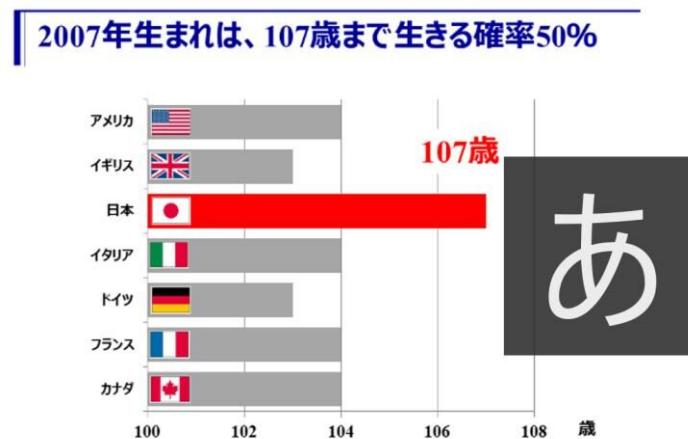
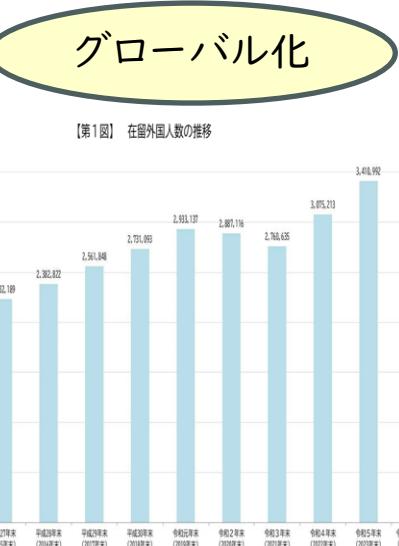
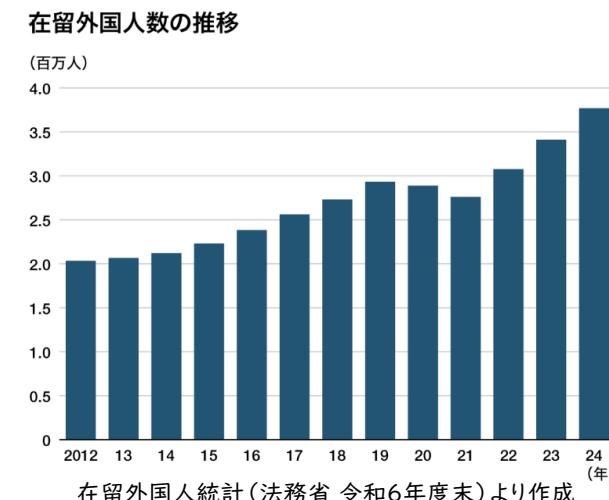
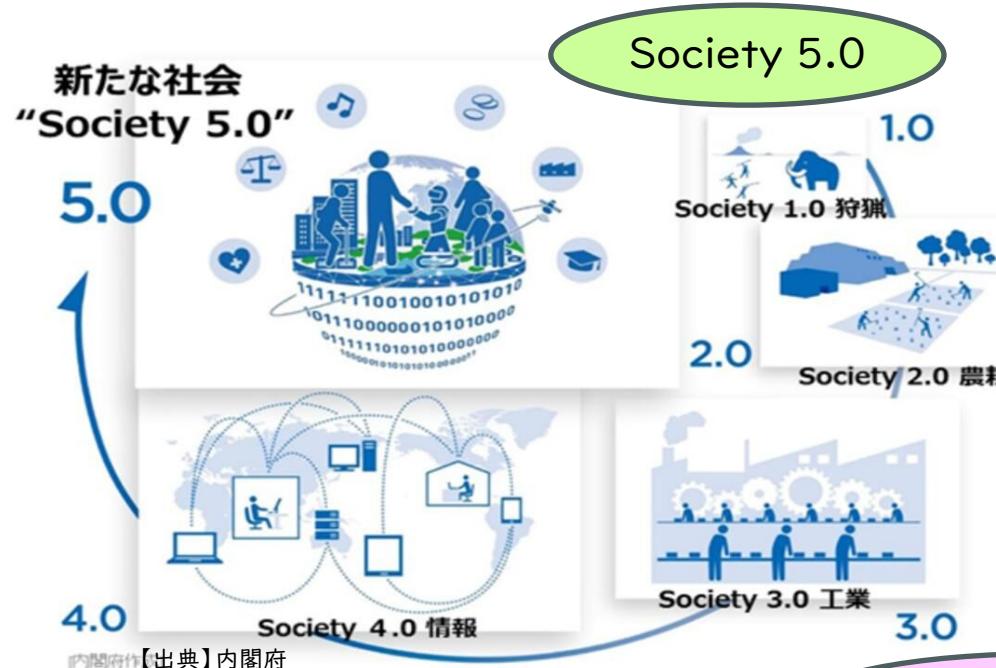
本特別部会においては、令和6年12月の文部科学大臣による諮問を受け、初等中等教育分科会や教育課程部会への報告を交えつつ、教育課程の枠組みに関する事項や教科横断的な事項を中心として審議を行ってきた。今般、13回にわたる検討の結果を暫定的に取りまとめ、今後の本特別部会における更なる検討の深化や各WG等での検討の前提として整理した。

第一章 次期学習指導要領に向けた基本的な考え方	… P2	第四章 情報活用能力の抜本的向上と質の高い探究的な学びの実現	… P47
第二章 質の高い、深い学びを実現し、分かりやすく使いやすい学習指導要領の在り方	… P7	(1) 情報活用能力の抜本的向上 (2) 質の高い探究的な学びの実現	… P48 … P55
(1) 中核的な概念等を活用した一層の構造化・表形式化・デジタル化	… P8	第五章 「余白」の創出を通じた教育の質の向上の在り方	… P62
(2) 「学びに向かう力、人間性等」の再整理	… P15	第六章 豊かな学びに繋がる学習評価の在り方	… P70
(3) 「見方・考え方」の再整理	… P19	第七章 その他諮問で提起された事項の在り方	… P79
(4) デジタル学習基盤を前提とした学びの在り方	… P22	(1) カリキュラム・マネジメントの在り方 (2) 高等学校入学者選抜 (3) 産業教育 (4) 特別支援教育 (5) 幼児教育 (6) 子供のより主体的な社会参画に関わる教育の改善	… P80 … P82 … P84 … P90 … P96 … P100
第三章 多様な子供たちを包摂する柔軟な教育課程の在り方	… P25	第八章 今後の検討スケジュールや検討の在り方等	… P104
(1) 検討の前提（児童生徒の実態と現行制度の枠組み）	… P26	審議経過	… P107
(2) 義務教育段階（「調整授業時数制度」の創設等）	… P30		
(3) 高等学校段階における教育課程の柔軟化	… P35		
(4) 個別の児童生徒に係る教育課程の編成・実施の仕組み	… P42		

※本論点整理において「学習指導要領」という際、第一章～第二章においては「幼稚園教育要領」を含む

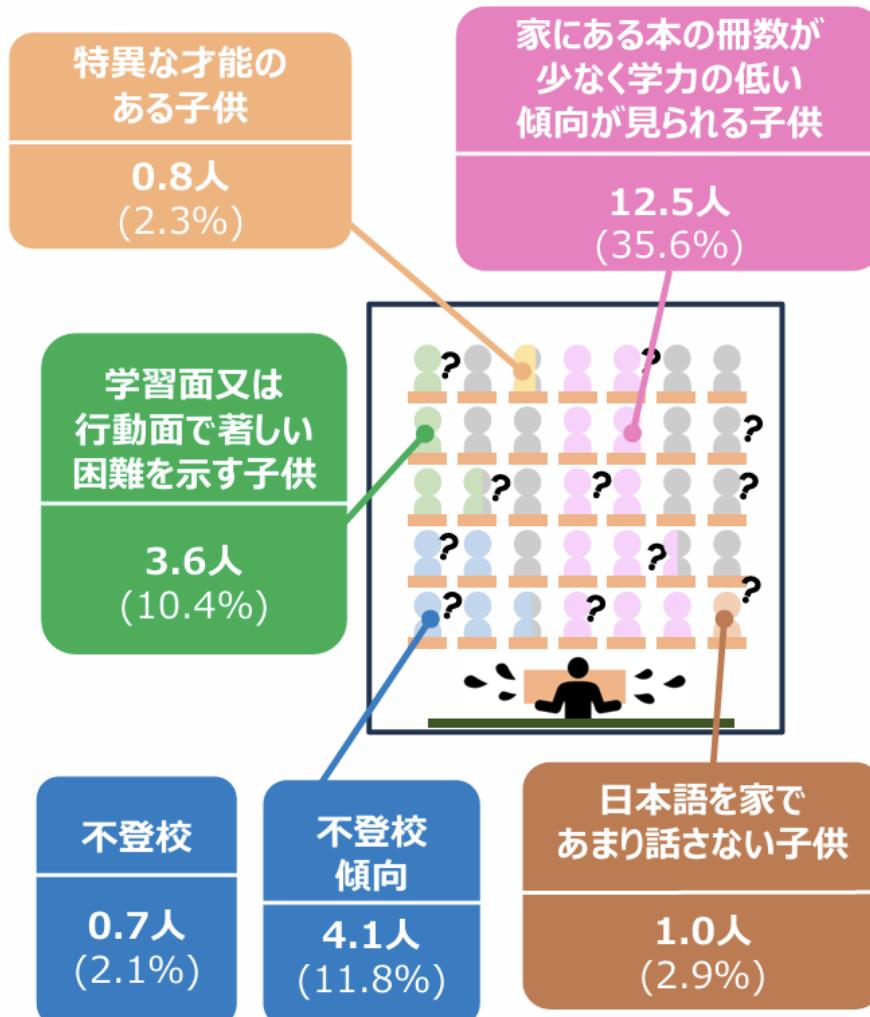
1

# 論点整理② 教育を取り巻く構造変化

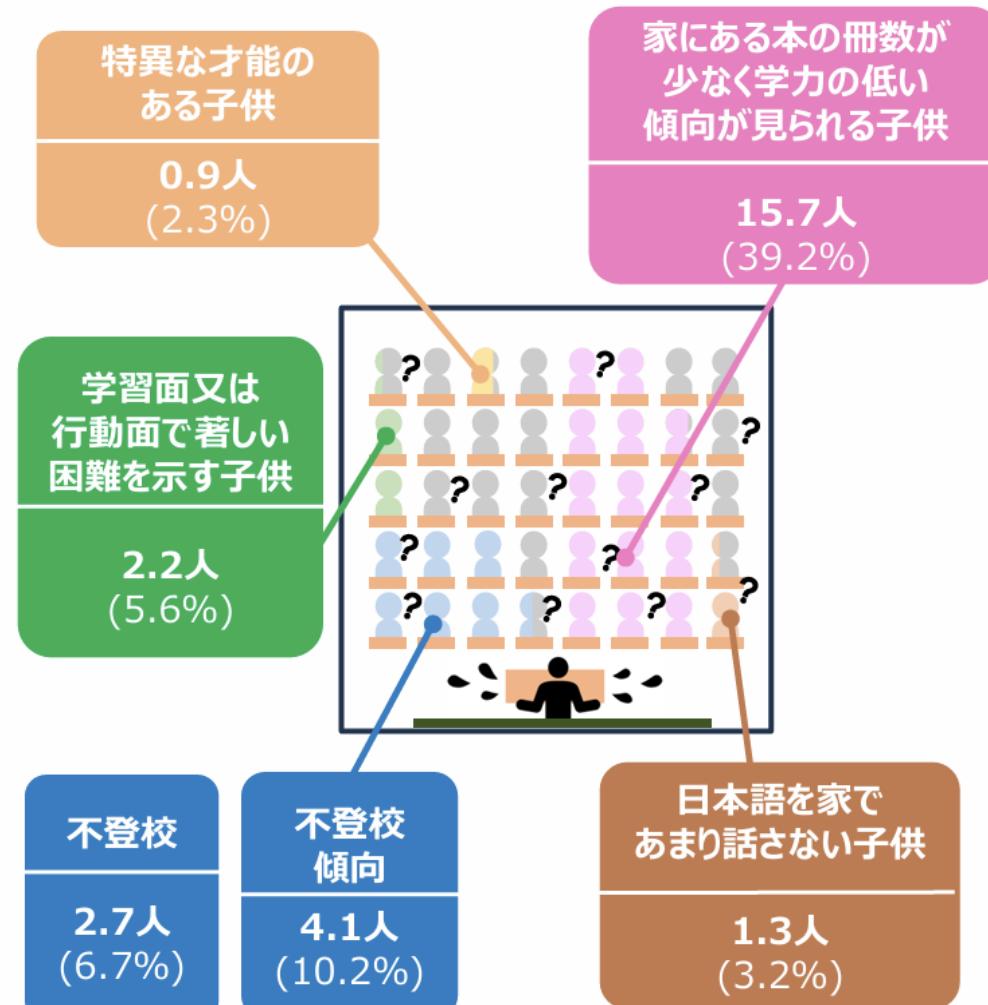


# 論点整理③ 児童生徒の多様性を包摂する必要性（小・中）

## 小学校（35人学級）



## 中学校（40人学級）



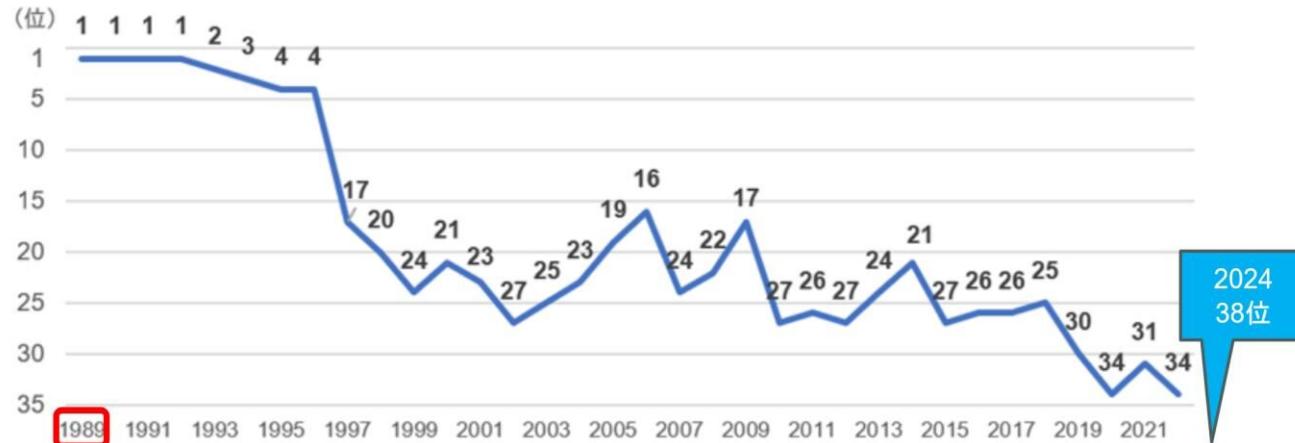
※各数字の出典は調査参考資料P45,46参照

[https://www.mext.go.jp/content/20242127-mxt\\_kyoiku01-000039494\\_03.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20242127-mxt_kyoiku01-000039494_03.pdf)

27

# 論点整理④ 我が国の経済状況と若者に求められる資質・能力

図表2 日本の総合順位の推移

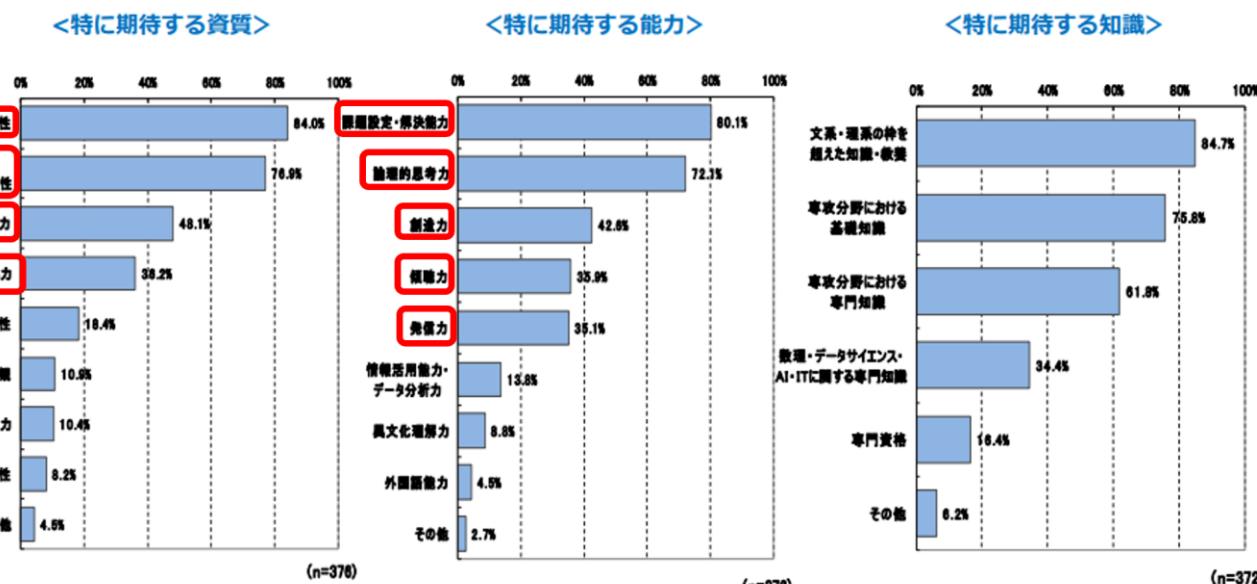


出所：IMD「世界競争力年鑑」各年版より三菱総合研究所作成

世界競争力（経済）の低迷  
昨年は38位

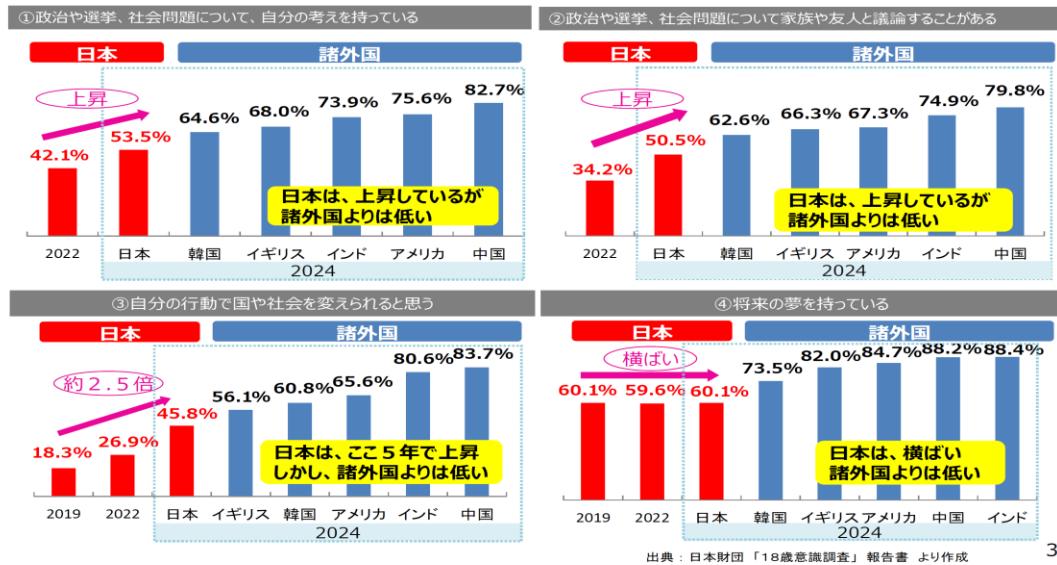
## 社会からの要請 「期待する資質・能力」

「主体性」「協働力」「実行力」「学び続ける力」「課題設定・解決能力」「論理的思考力」「創造力」etc.

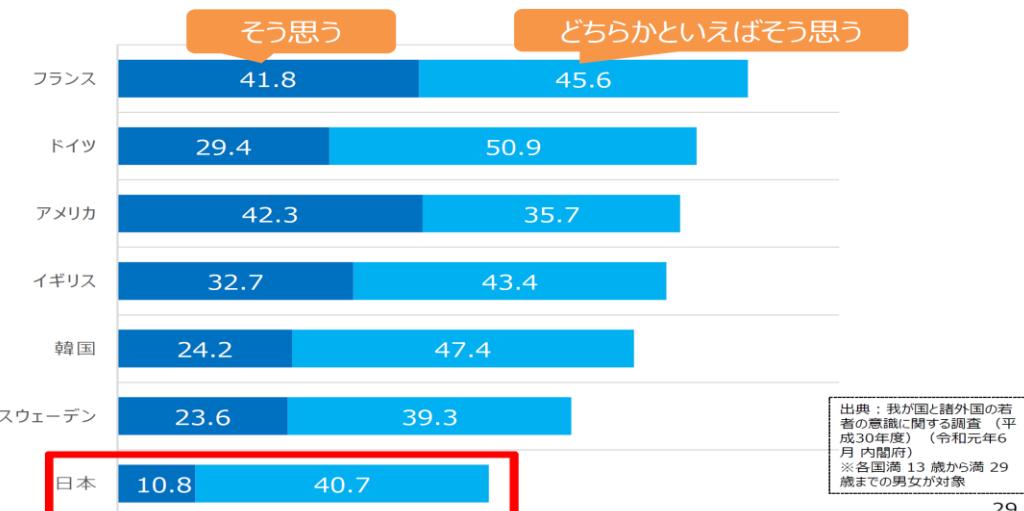


# 論点整理⑤ 日本と諸外国の若者の意識調査から

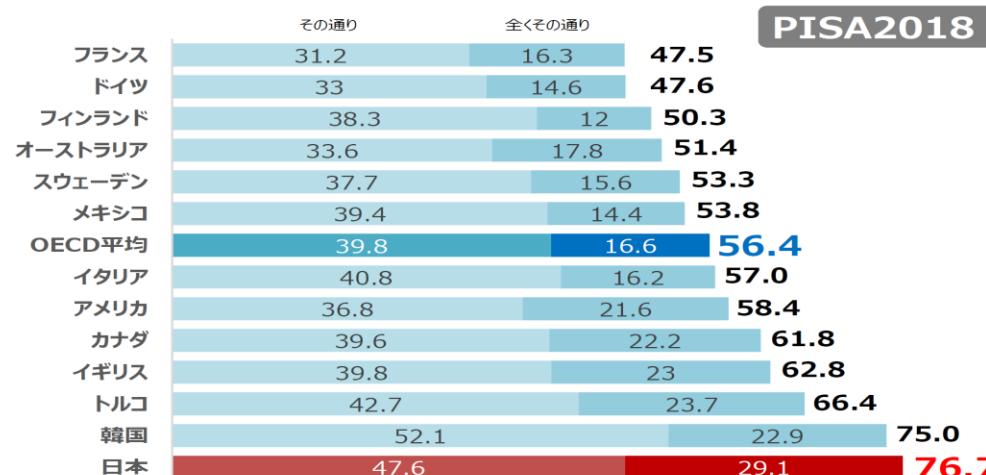
## 社会に対する若者の意識が諸外国に比べて低い



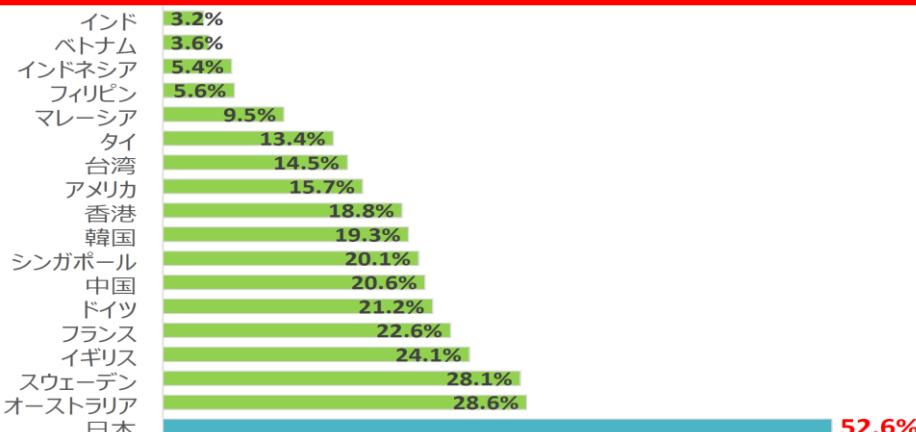
## うまくいかわからることにも意欲的に取り組む割合が諸外国より低い



## 失敗を恐れる生徒が多い



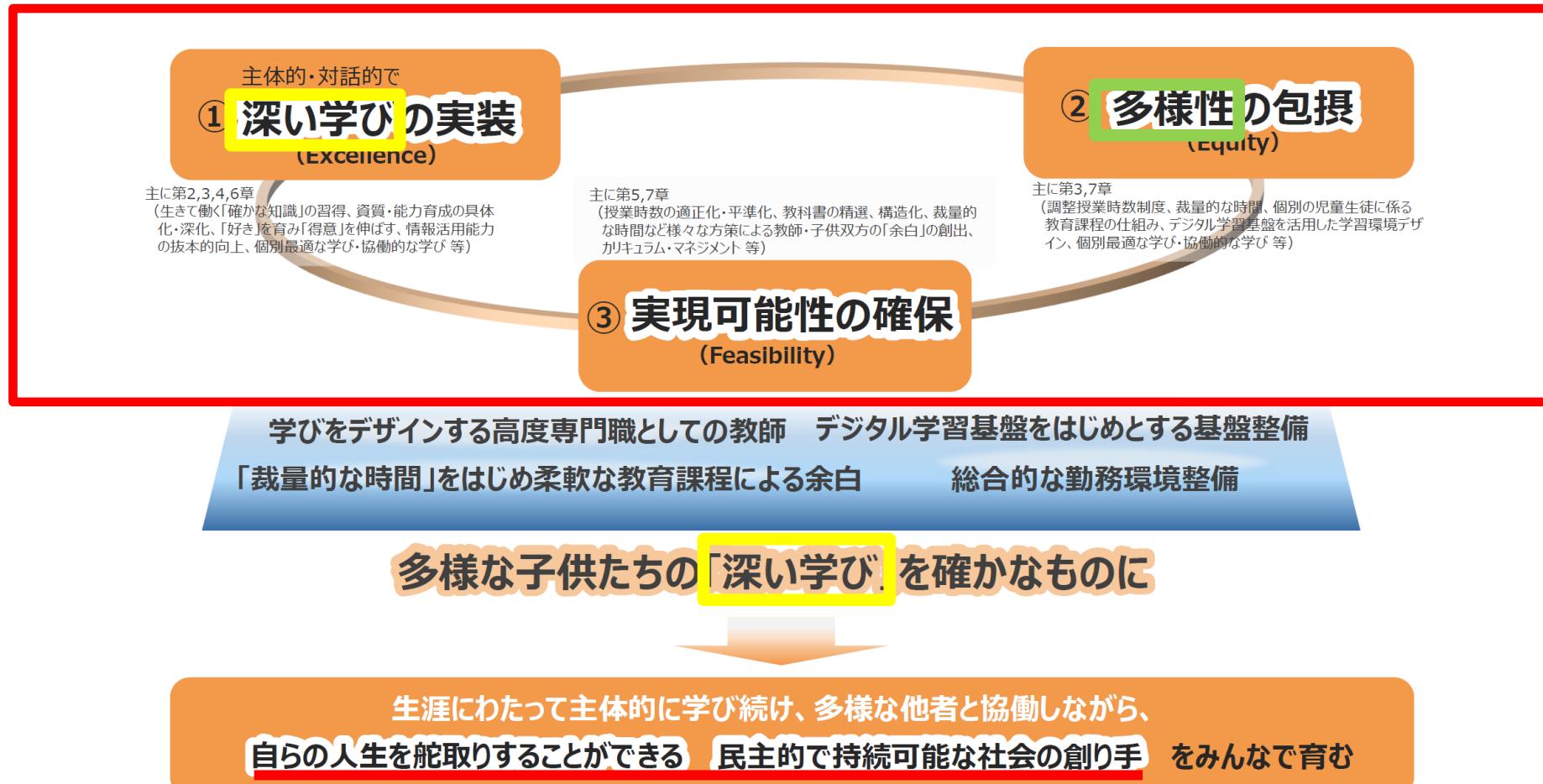
## 社会人になってからも自己研鑽・自己啓発を行わない人の割合が高い



# 論点整理⑥（教課程企画特別部会 令和7年9月25日）

## 次期学習指導要領に向けた検討の基盤となる考え方 ～あらゆる方策を活用し、三位一体で具現化～

補足イメージ1-①



# 論点整理⑦ (教課程企画特別部会 令和7年9月25日)

「主体的・対話的で深い学び」の実現を通じた

自らの人生を舵取りする力 と 民主的で持続可能な社会の創り手 育成 (今後の検討イメージ)

補足イメージ1-②

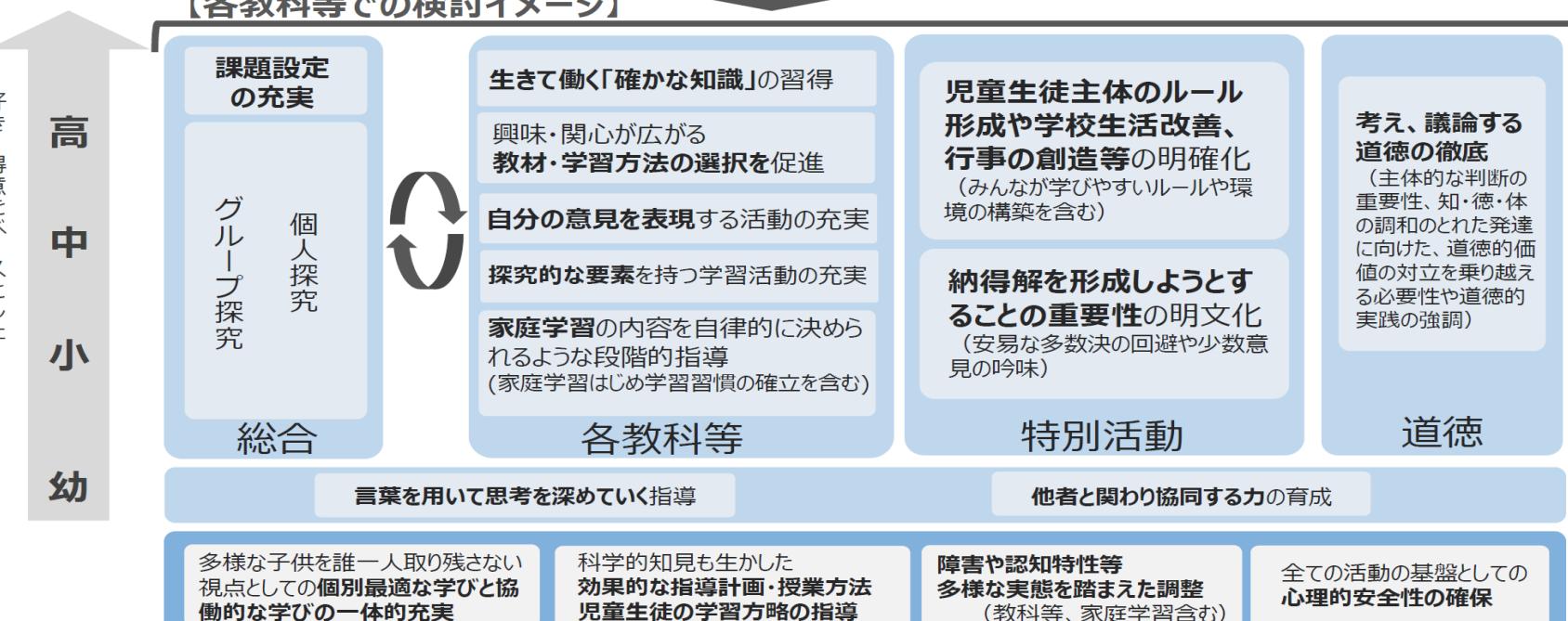
「好き」を育み、「得意」を伸ばす  
(興味・関心)

当事者意識を持って、自分の意見を  
形成し、対話と合意ができる

【各教科等での検討イメージ】

好き・得意をベースとした  
主体的な進路選択の促進

高  
中  
小  
幼



学びをデザインする高度専門職としての教師  
「裁量的な時間」をはじめ柔軟な教育課程による余白

デジタル学習基盤をはじめとする基盤整備  
総合的な勤務環境整備

※本イメージ図は、自らの人生を舵取りする力と民主的で持続可能な社会の創り手育成という今般の検討の一部を資料化したものであり、学習指導要領の改訂に関わる全ての要素を網羅する性質のものではない

6

# 論点整理⑧ 学習指導要領等がめざす姿(1)

## 新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする  
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる  
思考力・判断力・表現力等の育成

### 何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、  
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

### 何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた  
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共（仮称）」の新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

学習内容の削減は行わない\*

### どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成  
知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための学習過程の質的改善

主体的な学び  
対話的な学び  
深い学び

# 論点整理⑨ 学習指導要領等がめざす姿(2)

## 主体的・対話的で深い学びの実現

### (「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善)について(イメージ)

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的(アクティブ)に学び続けるようにすること

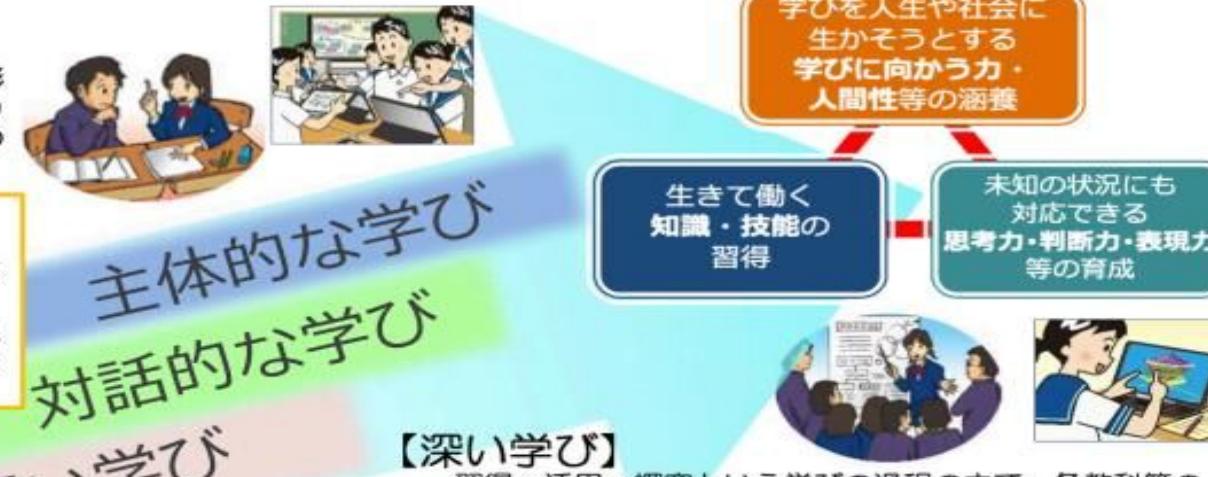
#### 【主体的な学び】

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。

##### 【例】

- 学ぶことに興味や関心を持ち、毎時間、見通しを持って粘り強く取り組むとともに、自らの学習をまとめ振り返り、次の学習につなげる
- 「キャリア・パスポート(仮称)」などを活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりする

主体的な学び  
対話的な学び  
深い学び



#### 【対話的な学び】

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。

##### 【例】

- 実社会で働く人々が連携・協働して社会に見られる課題を解決している姿を調べたり、実社会の人々の話を聞いたりすることで自らの考えを広める
- あらかじめ個人で考えたことを、意見交換したり、議論したり、することで新たな考え方方に気が付いたり、自分の考えをより妥当なものとしたりする
- 子供同士の対話に加え、子供と教員、子供と地域の人、本を通して本の作者などとの対話を図る



#### 【深い学び】

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだしして解決策を考えたり、思いや考え方を基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているか。

##### 【例】

- 事象の中から自ら問い合わせを見いだし、課題の追究、課題の解決を行う探究の過程に取り組む
- 精査した情報を基に自分の考えを形成したり、目的や場面、状況等に応じて伝え合ったり、考え方を伝え合うことを通して集団としての考え方を形成したりしていく
- 感性を働かせて、思いや考え方を基に、豊かに意味や価値を創造していく

# 深い学びにつながる単元設計

# 単元設計① 中教審 教育課程企画特別部会 より(1)

## (学習指導要領の活用)

- 教科横断的な視点によるカリキュラム・マネジメントが遅々として進まない現状がある。各教科で「社会に開いている部分は何か」をもっと見つめていく必要がある。

## (教科書や教師用指導書の活用)

- 教科書は、「教育課程の構成に応じて組織配列された教科の主たる教材」であることが理解されておらず、**やらされ感の下での教科書をこなす授業**が少なくない。教科書が最後まで終わらない場合、保護者からの苦情が来ることもある。
- 教科書を「しっかり教えなければならない」「終わらせなければならない」という**教科書至上主義の呪縛**が依然としてある。
- 授業を行う際は、**教師用指導書やHow to本を参考にする**。授業を行う前に、まずは教師用指導書を確認し、それを**なぞるだけの授業**を行う。教師用指導書は、本時の流れや発問も書かれており、教材研究が短時間で済み、それで教材研究を行つたつもりになる。目の前にいる児童生徒の実態を鑑みていないので**授業がファストフード化**し、進度は順調であっても、**子どもの学びが浅くなっている**。また、理解や学びが深くならないことを児童生徒のせいにすることもある。

## (授業のデザイン 教材・児童生徒・指導観)

- 一斉授業が主**であり、答えは教師が後ろ手で隠している。教師はとにかく**よくしゃべり**、児童生徒は**我先に正解を言い当てにいき、一問一答**で授業が進んでいる。
- いちいち学習指導要領や教師用指導書を見なくても、何年も使っている**自作プリント**など過去の教授履歴通り進めば、授業ができるので何も困っておらず、いわゆる「廊下での教材研究」に終始している。自分が受けてきた授業の再生から抜け出せず、観点別評価の意味もよく理解されていない。また、**プリント学習のこだわり**(プリントのデジタル化を含む)から抜け出せていない。

「学習指導要領を活用した授業づくり」 R7.2.17 教育課程企画特別部会 資料より 抜粋

# 単元設計② 中教審 教育課程企画特別部会 より(2)

## (授業のデザイン 教材・児童生徒・指導観)

・とにかく、児童生徒が問題を解けるようになればよい。そのためにドリル等を使用し、反復練習を重視している光景がよくみられる。

・**授業の軸がぶれ、方法論のみにこだわっている**ケースも散見される。

・様々な「〇〇メソッド」「〇〇スタイル」が氾濫し、教材や内容の検討(**教材観**)や、児童生徒の「実態把握(**児童生徒観**)」が希薄になり、**指導観**が借り物になってしまっている。

## (授業のデザイン 単元計画・評価計画の作成)

・**本時主義**に陥っており、授業の計画は一単位(小:45分・中:50分)のみで考えている。評価についても毎時間行わなければならぬと思っている。

・**指導に生きる評価**が甘く、**指導と評価の一体化**が看板倒れに終わっている。そもそも、授業が学習評価にまで行きつかないケースも見られる。また、評価が一時代前の価値(関心・意欲・態度など)で評価をしてしまっている場面がある。

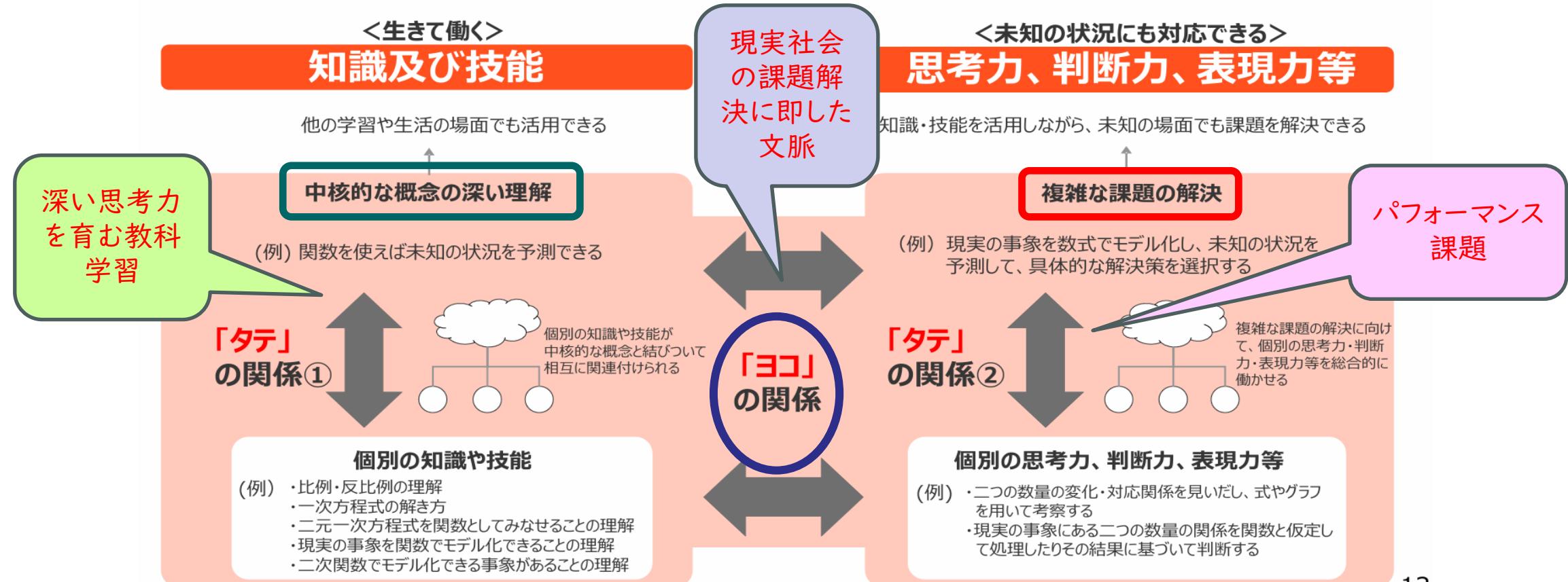
## (授業のデザイン 学習環境の整備)

・ICT機器などを使用することに抵抗感を持っており、チョーク & トーク型授の授業から抜け出せていない。

・**端末の利用が目的化**しており、授業がスマートであっても、**深い学び**になっていない授業も散見される。

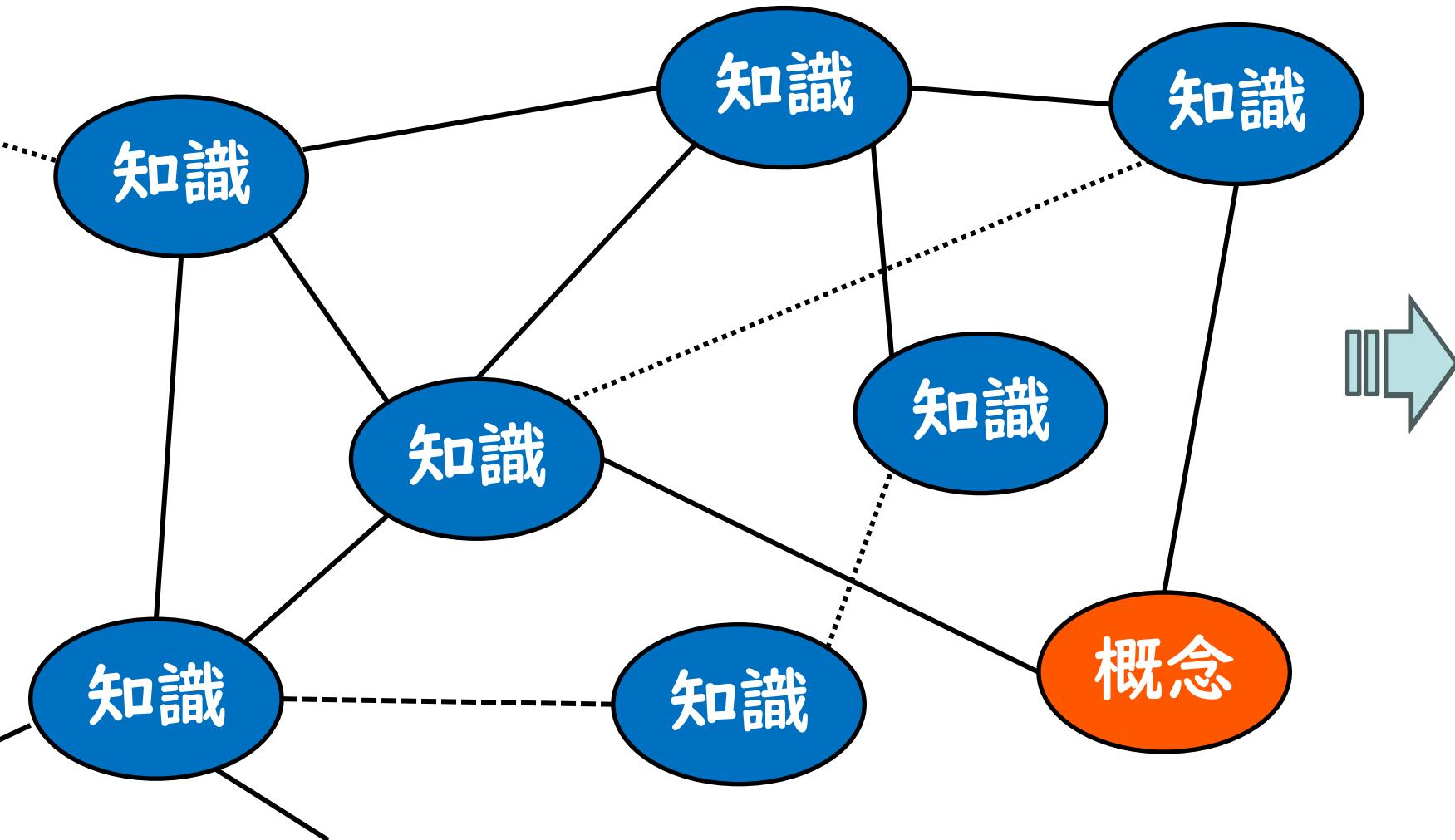
# 単元設計③ 「タテ・ヨコの関係」の可視化による「深い学び」の具現化

- 知識の理解も、それが生きて働くように深く学ぶことが重要（タテの関係①）。思考力・判断力・表現力等も、社会や生活で直面する未知の状況でも課題解決に繋げていけるよう「質」を高めることが重要（タテの関係②）
- ある程度の知識・技能なしに思考・判断・表現することは難しいし、思考・判断・表現を伴う学習活動なしに、知識の深い理解と技能の確かな定着は難しい（ヨコの関係）  
→こうした「タテ・ヨコの関係」を学習指導要領上で可視化することにより、資質・能力の関係性の理解や、それらを一体的に育成するための教師の単元づくりを助け、「深い学び」を授業で具現化しやすくする



## 単元設計④ 深い思考力を育む教科の学習(1)

持っている知識をつなぐ



アウトプット  
新たな  
場面で活用

感覚を数値という根拠を持って示す

数学

中 学 | 年 生  
「データの活用」

大阪教育大学附属池田中学校 井場 恒介先生の実践より

「長方形」って  
知っていますか？

大阪教育大学附属池田中学校 井場 恒介先生の実践より

「長方形」って  
美しいですか？

大阪教育大学附属池田中学校 井場 恒介先生の実践より

人が思う

美しい長方形って？

E

A

B

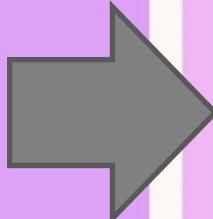
D

C

# 単元設計⑨ 深い思考力を育む教科の学習(6)

数学

人の  
感覚

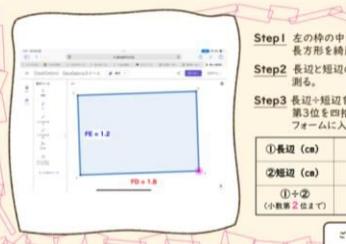
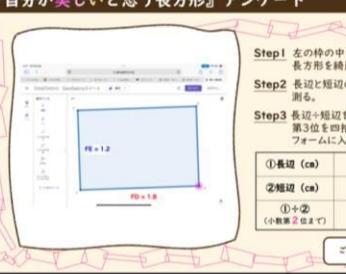
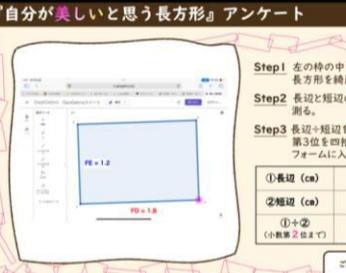
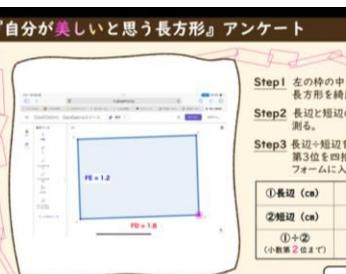
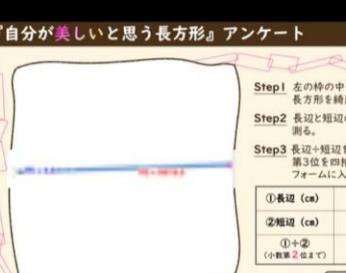
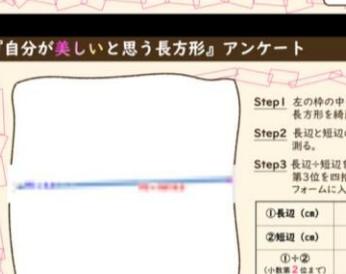
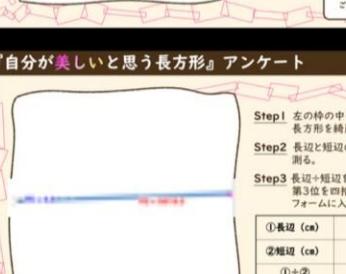
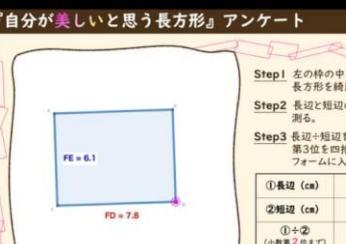
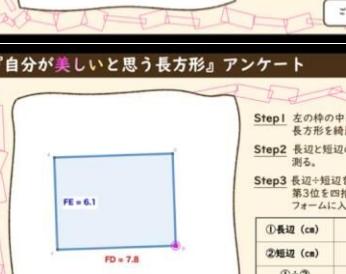


傾向  
ある？

# 単元設計⑩ 深い思考力を育む教科の学習(7)

## アンケートでデータ収集

# 数学

『自分が美しいと思う長方形』アンケート	『自分が美しいと思う長方形』アンケート	『自分が美しいと思う長方形』アンケート	『自分が美しいと思う長方形』アンケート	『自分が美しいと思う長方形』アンケート
 <p>ご協力お願いします!</p>	 <p>ご協力お願いします!</p>	 <p>ご協力お願いします!</p>	 <p>ご協力お願いします!</p>	 <p>ご協力お願いします!</p>
『自分が美しいと思う長方形』アンケート	『自分が美しいと思う長方形』アンケート	『自分が美しいと思う長方形』アンケート	『自分が美しいと思う長方形』アンケート	『自分が美しいと思う長方形』アンケート
 <p>ご協力お願いします!</p>	 <p>ご協力お願いします!</p>	 <p>ご協力お願いします!</p>	 <p>ご協力お願いします!</p>	 <p>ご協力お願いします!</p>
『自分が美しいと思う長方形』アンケート	『自分が美しいと思う長方形』アンケート	『自分が美しいと思う長方形』アンケート	『自分が美しいと思う長方形』アンケート	『自分が美しいと思う長方形』アンケート
 <p>ご協力お願いします!</p>	 <p>ご協力お願いします!</p>	 <p>ご協力お願いします!</p>	 <p>ご協力お願いします!</p>	 <p>ご協力お願いします!</p>
『自分が美しいと思う長方形』アンケート	『自分が美しいと思う長方形』アンケート	『自分が美しいと思う長方形』アンケート	『自分が美しいと思う長方形』アンケート	『自分が美しいと思う長方形』アンケート

# 単元設計⑪ 深い思考力を育む教科の学習(8)

## 感覚を数値という根拠を持って示す

数学

1000個の生データ

iPadで処理

### ②データの傾向

イ) 解析対象：外れ値を除いた583人(長辺/短辺比が1以上2未満の回答者)

fig. 3 階級の幅：0.5 n=583

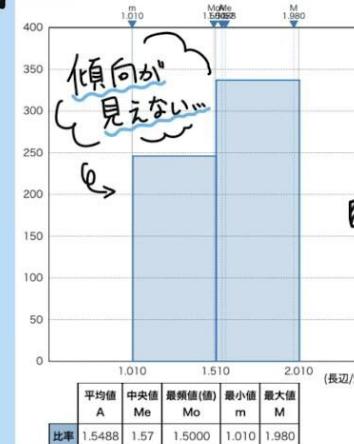


fig. 4 階級の幅：0.3 n=583

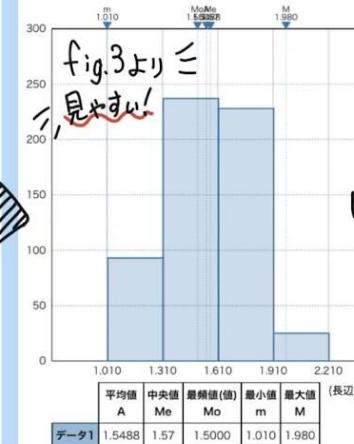
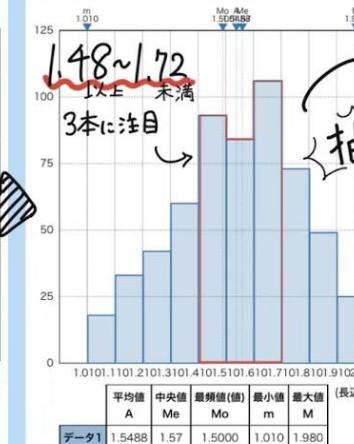


fig. 5 階級の幅：0.1 n=583



口)解析対象：長辺/短辺比が1.48以上1.72未満

fig. 6 階級の幅：0.1 n=248

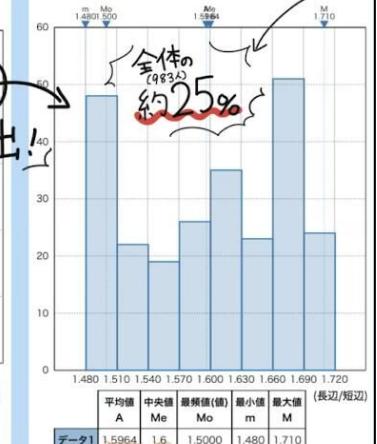


fig3,4,5のようにヒストグラムの階級の幅を縮めることで、数値ごとの人数の差が視覚的にわかりやすくなった。fig. 5から[長辺/短辺]比が1.48以上1.72未満と回答した人が多い傾向が掴めた。fig3,4,5の最頻値より平均値と中央値が大きく、このことから特定の範囲に回答者が固まっているない、人数分布にバラつきがあるのではないかと予想した。さらに解析対象を絞り、fig. 6を作成した。そうすると、分布がU字型になっていることが分かった。しかし、fig. 6は全体データの約25%のデータであり、全体のデータの傾向をつかんでいるとは言い難い。なので私はfig. 5から[長辺/短辺]比が1.48以上1.72未満が美しいと感じる人が多い傾向にあると考えた。

# 単元設計⑫ 深い思考力を育む教科の学習(9)

感覚を数値という根拠を持って示す

数学

1.5

～

1.7

なぜ？

大阪教育大学附属池田中学校 井場 恒介先生の実践より

国立大学法人 大阪教育大学

# 単元設計⑬ 深い思考力を育む教科の学習(10)

正しく数値化するための学習→人数の違いをどうするか **数学**



# 単元設計⑯ 深い思考力を育む教科の学習(11)

# 数学

**パフォーマンス課題『人が美しいと思う長方形』**

**①外れ値の処理**

イ) 解析対象: 全数値  
fig. 1 階級の幅: 100 n=983

ロ) 解析対象: 1以上101未満  
fig. 2 階級の幅: 10 n=965

table. 1

階級 (長辺/短辺)	度数 (人)
1.000 ~ 2.000	583
2.000 ~ 3.000	220
3.000 ~ 4.000	47
4.000 ~ 5.000	27
5.000 ~ 6.000	10
6.000 ~ 7.000	14
7.000 ~ 8.000	5
8.000 ~ 9.000	4
9.000 ~ 10.000	10
10.000 ~ 11.000	5

fig. 1より長辺/短辺が1以上101未満と回答した人が最も多かった。なので、対象を1以上101未満のfig. 2を作成した。fig. 2より比率が1以上11未満と回答した人が最も多かった。なので、その数値に注目した度数分布表table. 1を作成した。すると、1以上2未満に回答が多かったことに気がついた。これより、1以上2未満を対象としてデータの傾向を考えた。

**②データの傾向**

イ) 解析対象: 外れ値を除いた583人(長辺/短辺比が1以上2未満の回答者)  
fig. 3 階級の幅: 0.5 n=583

ロ) 解析対象: 長辺/短辺比が1.48以上1.72未満  
fig. 4 階級の幅: 0.3 n=583  
fig. 5 階級の幅: 0.1 n=583  
fig. 6 階級の幅: 0.1 n=248

fig. 3より「傾向が見えない」と「見えた」と批評。fig. 5より「1.48~1.72未満3本に注目」と「抽出」と批評。fig. 6より「全体の約25%」と「抽出」と批評。

fig. 3,4,5のようにヒストグラムの階級の幅を縮めることで、数値ごとの人数の差が視覚的にわかりやすくなかった。fig. 5から[長辺/短辺]比が1.48以上1.72未満と回答した人が多い傾向が掴めた。fig. 3,4,5の最頻値より平均値と中央値が大きく、このことから特定の範囲に回答者が固まっている、人数分布にバラつきがあるのではないかと予想した。さらに解析対象を絞り、fig. 6を作成した。そうすると、分布がU字型になっていることが分かった。

しかし、fig. 6は全体データの約25%のデータであり、全体のデータの傾向をつかんでいるとは言い難い。なので私はfig. 5から[長辺/短辺]比が1.48以上1.72未満が美しいと感じる人が多い傾向にあると考えた。

**③現実世界の長方形**

著名なもの  
凱旋門、パルテノン神殿、落葉の比率

身近なもの  
首里城守礼門、パルテノン神殿、落葉の比率

【長辺/短辺】比が1.48以上1.72未満を美しいと感じる人が多い結果となったが、その範囲には首里城の守礼門やパルテノン神殿のように黄金比が含まれている。また、身近なコミックスやトランプのデザインの【長辺/短辺】比も含まれていることが分かった。自然物である落ち葉でもきれいな葉と感じた物の比はその範囲にあった。

**④まとめ**

○振り返り・発見  
階級の幅や、解析対象のデータ数を変えると見え方も変わり、印象も変わることを学んだ。だが、きれいなグラフになればなるほど対象となるデータの数が少なくなっていく。本当に普遍的なデータなのだろうか。傾向を出すためにはある程度範囲を絞る必要があるが、どこまで絞ると良いのだろうか。難しいと感じた。ただ、今回私が出した範囲には黄金比が含まれていたので、大きくてはいないと思う。

凱旋門は約200年前に、守礼門は約500年前に作られた建造物である。この二つにも黄金比が用いられている。人が美しいと思う長方形の比率は時代を超えて同じなのではないだろうか。

○他にも解明できること  
・遊園地のジェットコースターに乗るための待ち時間の限界の傾向  
・UFOキャッチャーで一つの景品に使う金額の傾向  
・忘れ物が多くなる月の傾向

## データの処理 なぜを追求

# 中学1年 6月

# 単元設計⑯ 深い思考力を育む教科の学習(12)

数学

レポートの相互評価  
で指摘し合う

大阪教育大学附属池田中学校 井場 恒介先生の実践より

国立大学法人 大阪教育大学

# 単元設計⑯ 深い思考力を育む教科の学習(13)

## 本の紹介 ~伝わる・伝えるとは~

国語

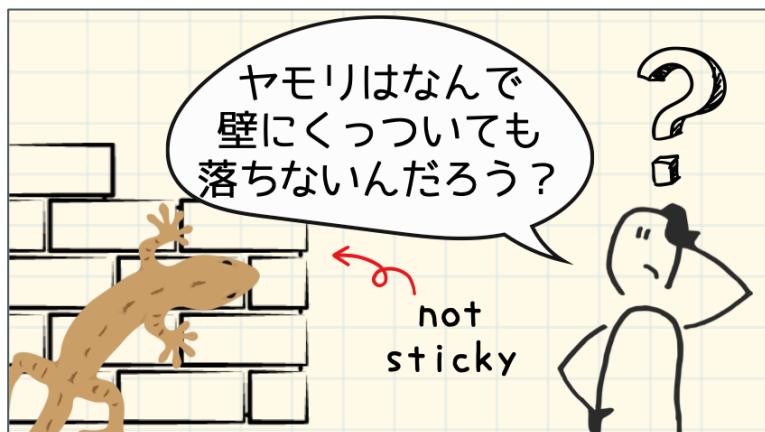
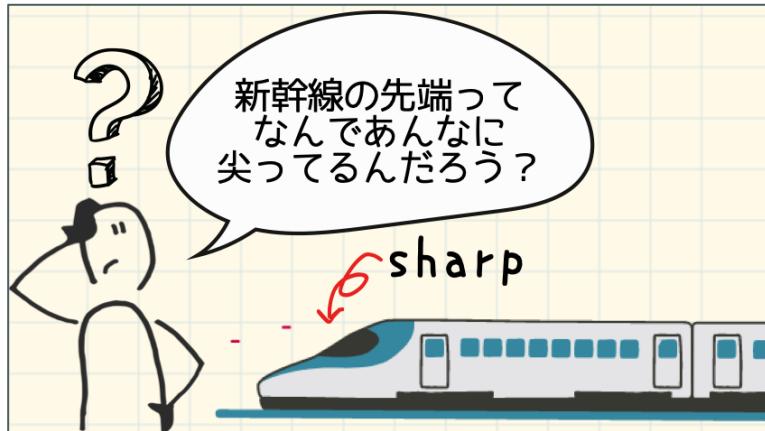


大阪教育大学附属池田中学校 西川 和貴先生の実践より

# 単元設計⑯ 深い思考力を育む教科の学習(14)

## 本の紹介 ~伝わる・伝えるとは~

国語



# 単元設計⑯ 深い思考力を育む教科の学習(15)

## 本の紹介 ~伝わる・伝えるとは~

国語



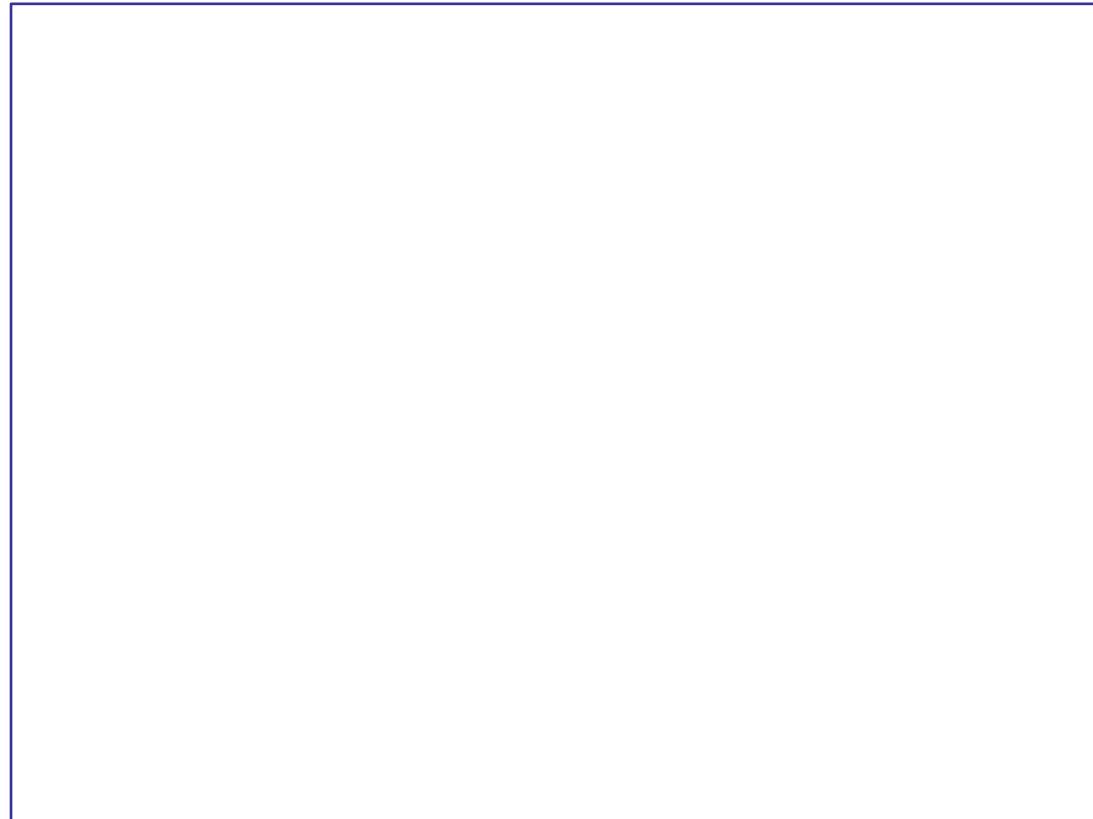
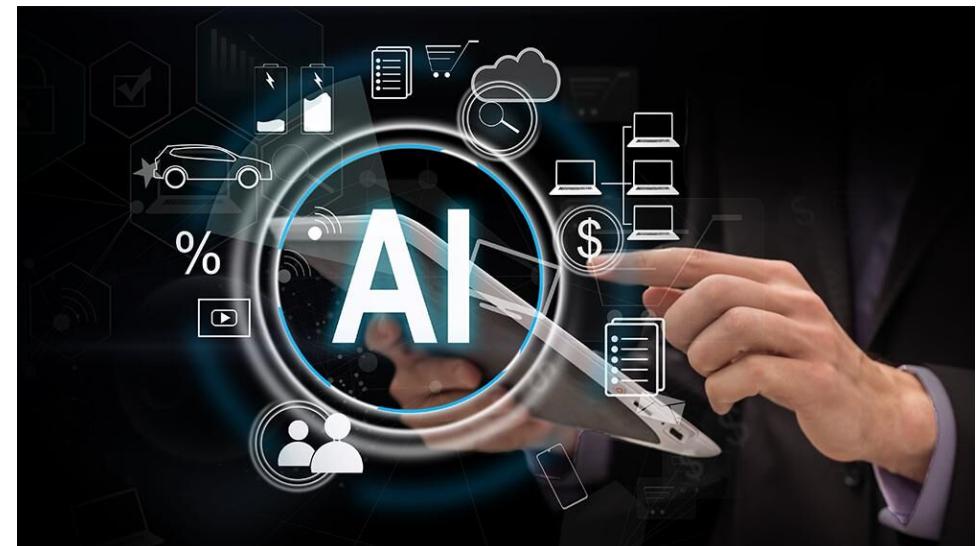
中学1年  
6月

# 単元設計⑯ 深い思考力を育む教科の学習(16)

生成AIとの対話～情報を鵜呑みにせず、自分で吟味～

英語

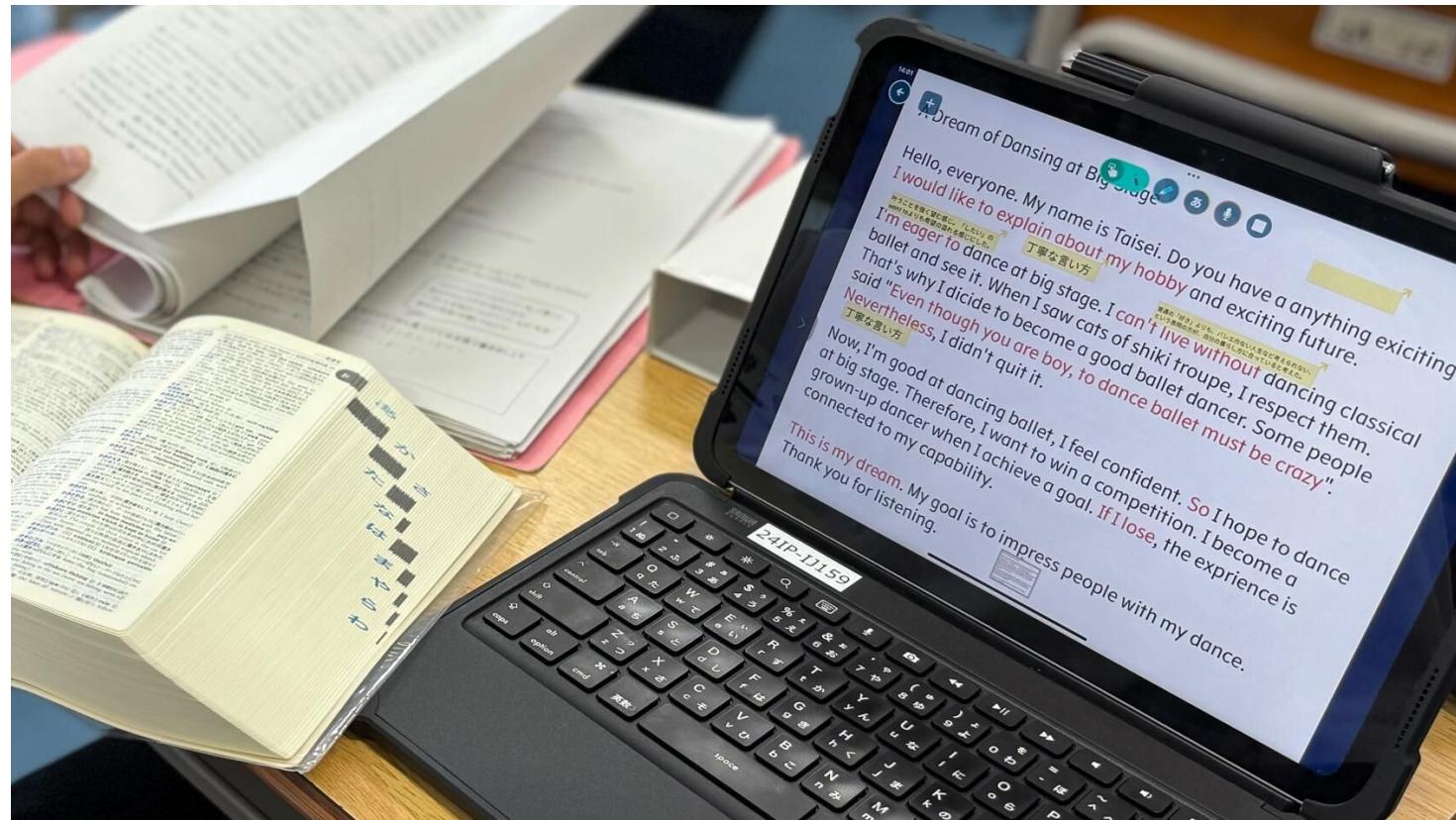
中学2年  
6月



# 単元設計②〇 深い思考力を育む教科の学習(17)

生成AIとの対話～情報を鵜呑みにせず、自分で吟味～

英語



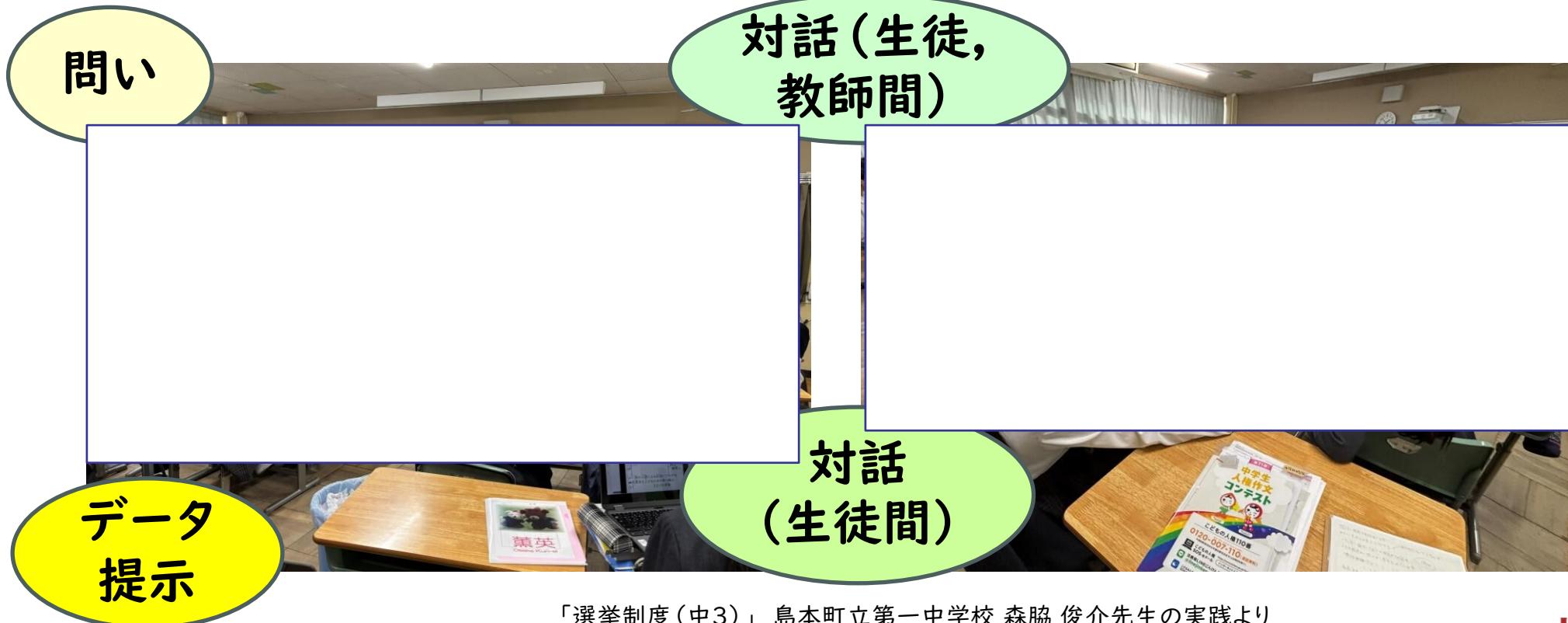
なぜ  
その単語?  
その文章?

# 単元設計②1 深い思考力を育む教科の学習(18)

## テーマ：「選挙制度の課題」

- ① 「選挙に行かない理由って何？」個人思考→交流→全体での共有
- ② 世代別の投票率（データ）提示 「何が見とれるか、どの世代に課題を感じるか」
- ③ 「では、それを克服するための手立てや工夫は？」

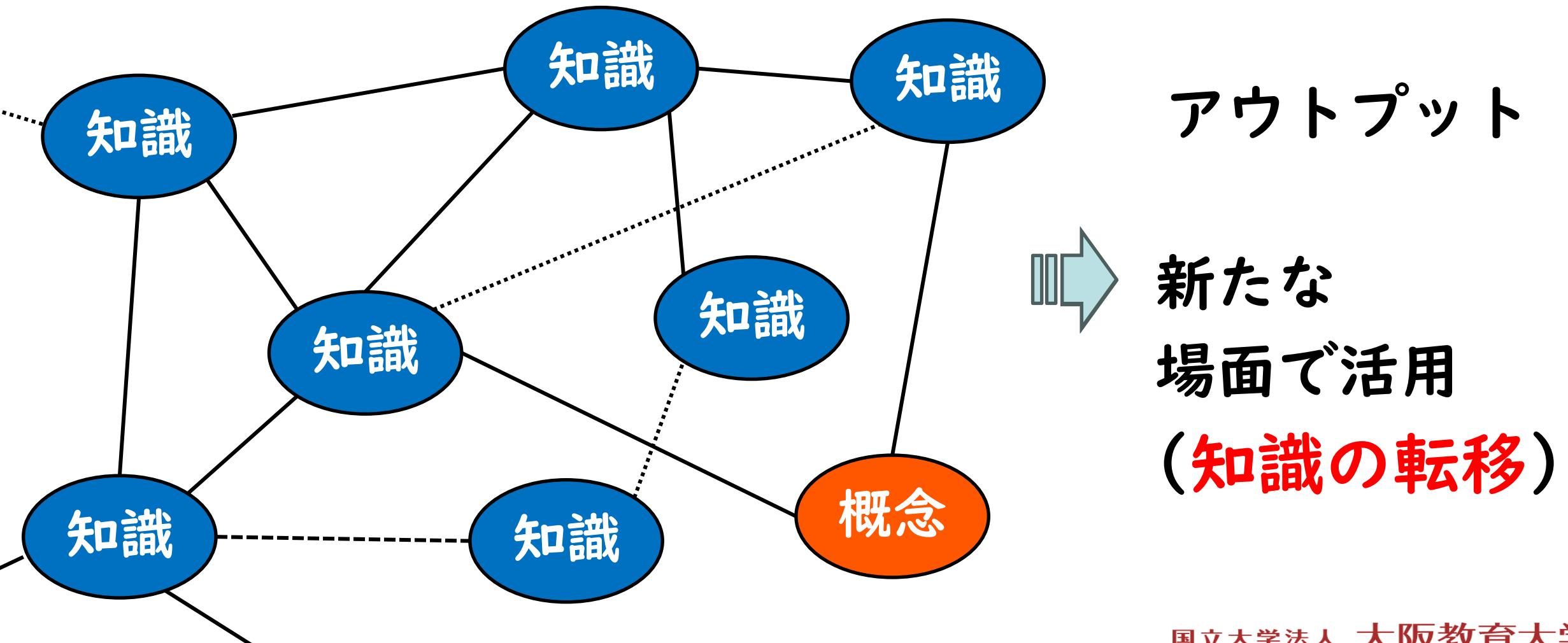
社会



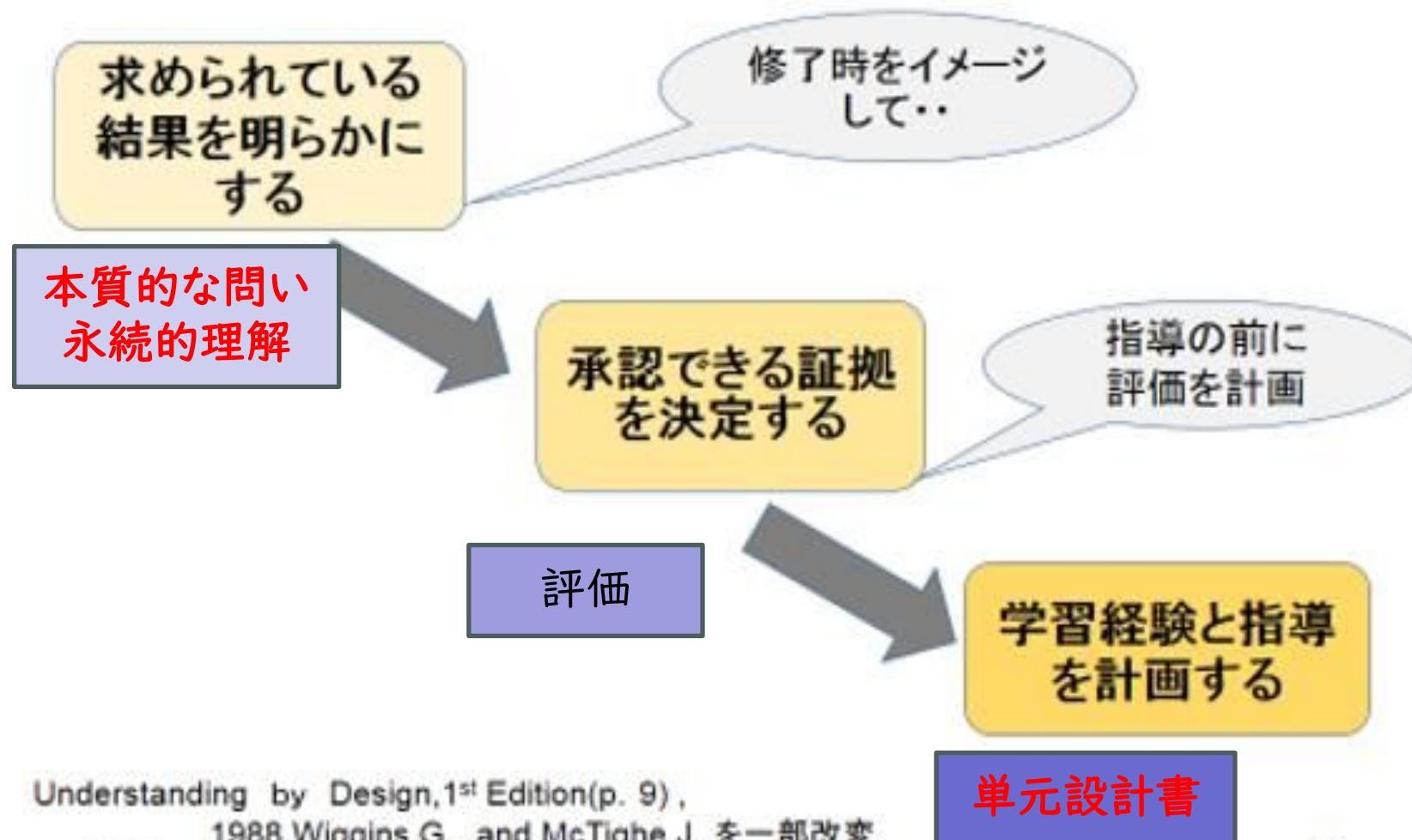
「選挙制度(中3)」島本町立第一中学校 森脇 俊介先生の実践より

国立大学法人 大阪教育大学

### 持っている知識をつなぐ



# 単元設計② 逆向き設計 (Backward Design)

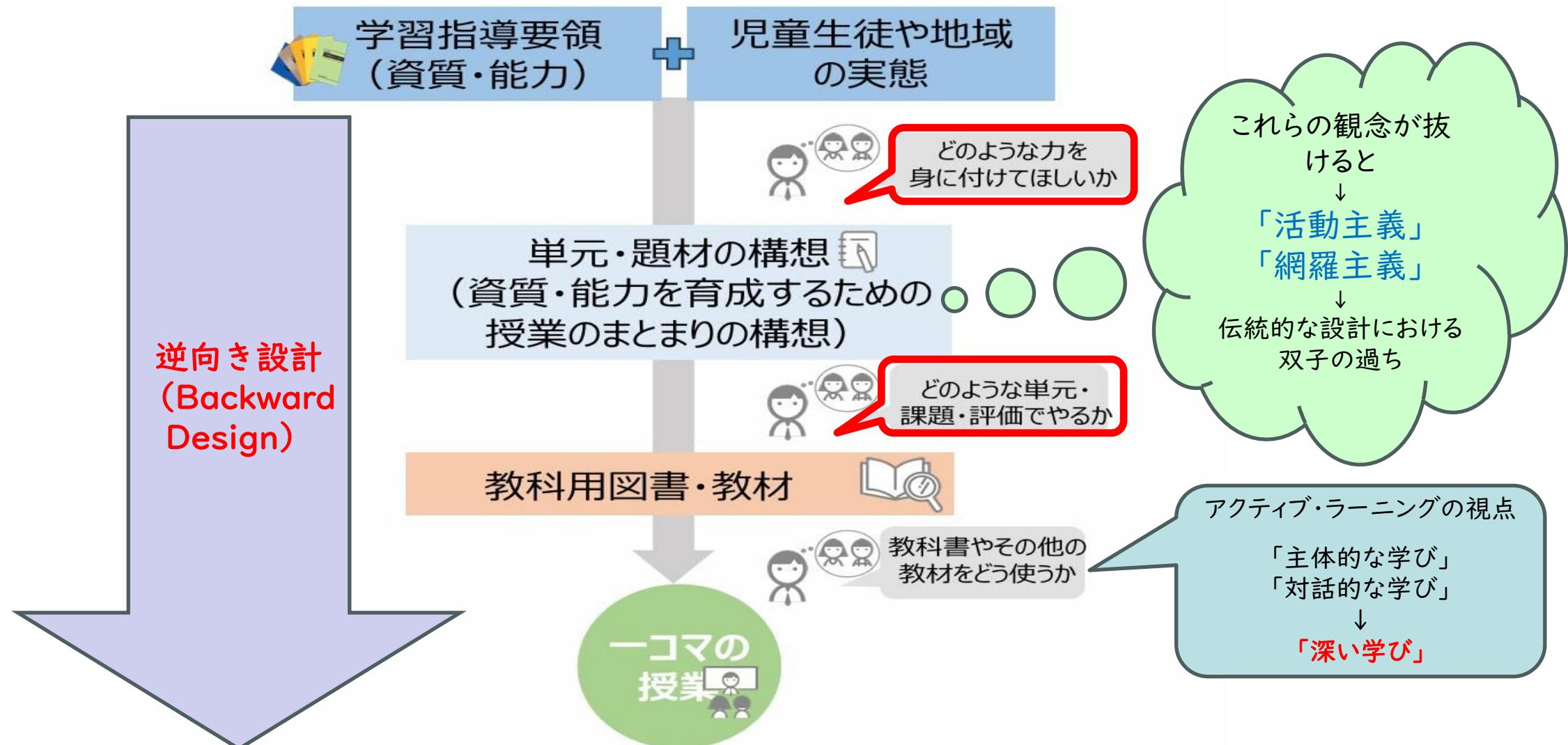


Understanding by Design, 1<sup>st</sup> Edition(p. 9),  
1988, Wiggins, G. and McTighe, J. を一部改変

E30/P11

10

# 単元設計②4 資質・能力から出発する授業づくりのイメージ



学習指導要領の一層の構造化(令和7年2月17日 教育課程企画特別部会)

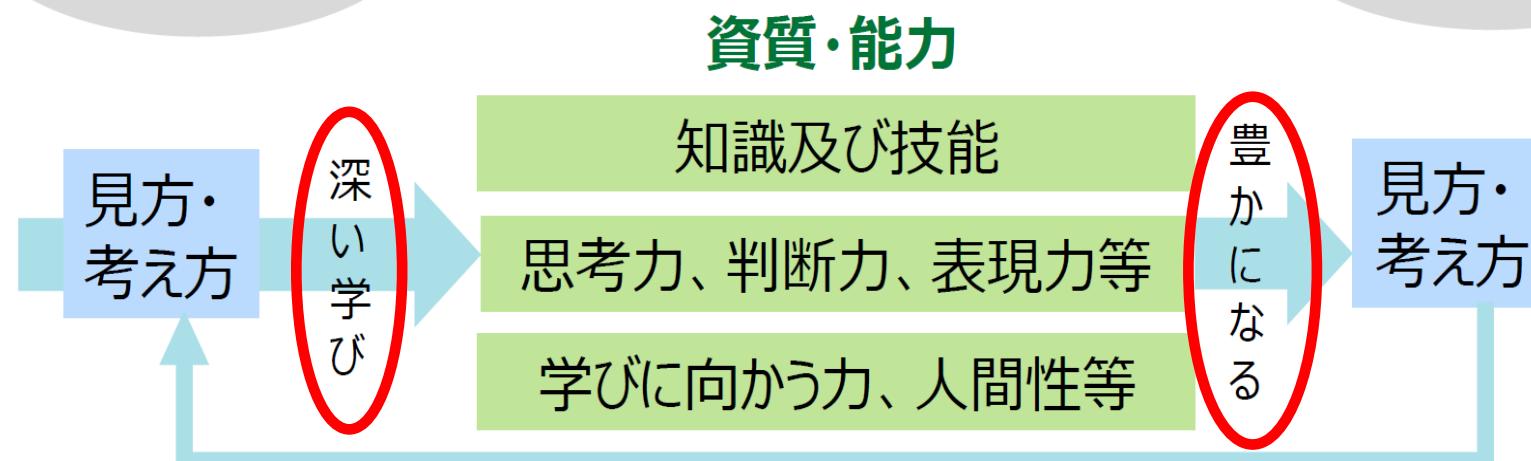
国立大学法人 大阪教育大学

# 単元設計② 見方・考え方(1)

## 現在の「見方・考え方」と「資質・能力」の関係イメージ

**側面①**  
教科等の学びの過程で  
見方・考え方を働かせる  
⇒各教科等の学びの深まり

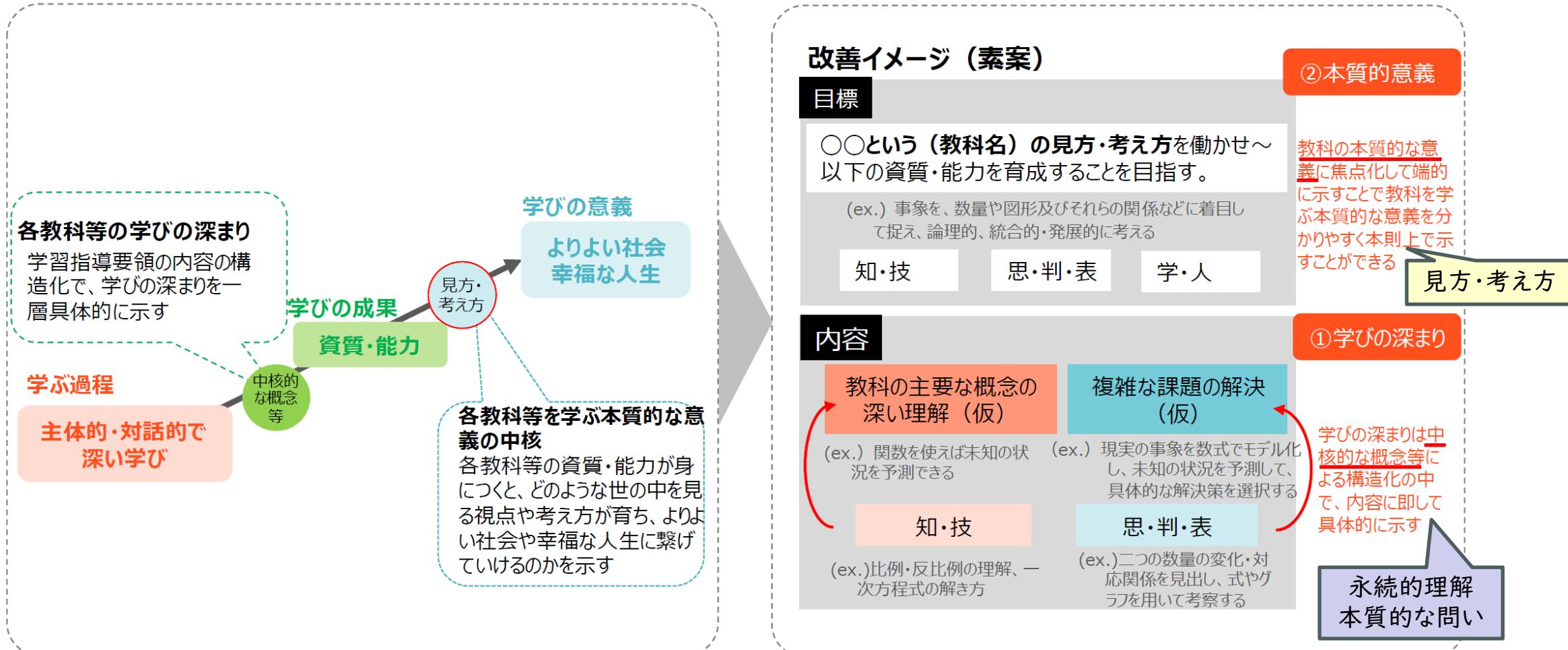
**側面②**  
教科等の学びで鍛えられた見方・考え方  
でよりよい社会や豊かな人生に繋げる  
⇒各教科等を学ぶ本質的な意義の中核



「学習指導要領の構造化を進めるに当たっての諸論点」 R7.4.25 教育課程企画特別部会 資料 より

# 単元設計② 見方・考え方(2)

## 今後の見方・考え方の役割の改善イメージ



「学習指導要領の構造化を進めるに当たっての諸論点」 R7.4.25 教育課程企画特別部会 資料 より

# 単元設計② 見方・考え方(3)

単元設計テンプレート(参考書式)

年度 所属	職名	名前
小学校・中学校・高等学校 学年 教科(科目)名		
単元名	単元(題材)名: 2学期に実践予定の単元(題材)を選んでください。 「見方・考え方」 単元(題材)のどうぞ方を、教科の「見方・考え方」に基づいて記入してください。	
	単元(題材)目標 学習指導要領に基づいて記入してください。	
	観点別評価規準 (知識・技能) (思考・判断・表現) (主体的に学習に取り組む態度) 学習指導要領解説や「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料を参考に記入してください。 左に同じ 左に同じ	
	【重点目標】 「本質的な問い合わせ」※今回は単元の「本質的な問い合わせ」 生徒を永続的理解に導く、単元を貫く問い合わせを設定する。 ●どのような刺激的な問い合わせが、探究、理解、学習の転移を促進するのか?	
	【知識・スキル】 この単元で習得する必要がある事実的知識や個別的スキルを箇条書きで記入してください。	
	【永続的理解】 「永続的理解」を言語化する。 生徒は、～～は…だと理解する。 ●重大な概念は何か? ●それについて、どのような特定の理解が求められているのか? ●どのような誤解が予想されるのか?	
	【パフォーマンス課題】	
	【その他の評価方法】	
	【ループリック】	
【チェックリスト】		

※このテンプレートは、京都大学大学院教育学研究科 E.FORUM にて開発されたものである。  
奥村好美・西岡加名恵著『逆向き設計』実践ガイドブック』日本標準、2020年、巻末資料①を一部改編。

## 「単元設計書」と総括的評価課題(パフォーマンス課題)の作り方

- ① 単元を選ぶ(適切なサイズの単元を設定する)。
- ② 教科の「見方・考え方」に着目して単元を捉える。
- ③ 単元目標と単元全体の評価規準を設定する(学習指導要領解説や「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料を参考)。
- ④ 単元の中核に位置する重点目標に見当をつけつつ、取り組む課題のイメージを持つ。
- ⑤ 「本質的な問い合わせ(単元を貫く問い合わせ)」を明確にする。
- ⑥ その問い合わせに対してどのようなレベルの答えに達してほしい(「原理や一般化」についての「永続的理解」)を明文化+ループリックの作成
- ⑦ 総括的評価課題(パフォーマンス課題)のシナリオをつくる。

単元計画書テンプレート(奥村好美・西岡加名恵『逆向き設計』実践ガイドブック』日本標準、2020年を参照)

# 単元設計②8 見方・考え方(4)

島本一中(令和7年7月24日 校内研修ワークショップより 一部抜粋)

教科・学年	単元	見方・考え方
英語・第3学年	AI Technology and Language	外国語でコミュニケーションを図るために、外国語やその背景にある文化を社会や世界、他者との関わりの中で捉え、目的・場面・状況等に応じて、情報や自分の考えなどを形成、整理、再構築する。
社会・第2学年	江戸時代の幕府政治の動き	江戸時代の内政に目を向け、江戸幕府の諸改革について理解し、幕府の政策が農村の変化や商業の発達などの社会に及ぼした影響について考察する。改革を経済の視点や福祉の視点から多角的に分析することで、それぞれの改革が社会に及ぼした影響を理解する。
技術・第1学年	等角図を描いてみよう！	等角図は部品や構造を的確に伝える手段。道具や装置を組み立てるときの考え方と直結し、立体構造を把握することで、実際の組立順や必要な部品などを論理的に予測できる。また、機能や耐久性など現実的な条件も踏まえた視点で図を活用する。
理科・第3学年	新しいものとつくりについて探究する	自然環境や科学技術と人間とのかかわりについてを、日常生活や社会と関連づけながら、持続可能な開発目標の達成に向けて、自分の意見を科学的・論理的に説明することができ、持続可能な開発目標の達成に向けて自分の考えを広げ深める。

# 単元設計②9 本質的な問いと永続的理解(1)

単元設計テンプレート(参考書式)			
年度	所属	職名	名前
小学校・中学校・高等学校 学年 教科(科目)名			
単元名	単元(題材)名: 2学期に実践予定の単元(題材)を選んでください。 「見方・考え方」 単元(題材)のどうえ方を,教科の「見方・考え方」に基づいて記入してください。		
	単元(題材)目標 学習指導要領に基づいて記入してください。    <b>【重点目標】</b> 「本質的な問い」※今回は単元の「本質的な問い」 生徒を永続的理解に導く, 単元を貫く問い合わせを設定する。 ●どのような刺激的な問い合わせが, 探究, 理解, 学習の転移を促進するのか?  <b>【知識・スキル】</b> この単元で習得する必要がある事実的知識や個別的スキルを箇条書きで記入してください。  <b>「永続的理解」</b> 「永続的理解」を言語化する。 生徒は,～～は…だと理解する。 ●重大な概念は何か? ●それらについて,どのような特定の理解が求められているのか? ●どのような誤解が予想されるのか?		
3 評価方法	【パフォーマンス課題】		【その他の評価方法】
4 評価基準	【ループリック】		【チェックリスト】

\*このテンプレートは, 京都大学大学院教育学研究科 E.FORUM にて開発されたものである。  
奥村好美・西岡加名恵編著『逆向き設計』実践ガイドブック』日本標準, 2020 年, 卷末資料①を一部改編。

## 「単元設計書」と総括的評価課題(パフォーマンス課題)の作り方

### I. 「永続的理解」を言語化する。

生徒は,～～は…だと理解する。

- 重大な概念は何か?
- それらについて,どのような特定の理解が求められているのか?
- どのような誤解が予想されるのか?

④ 単元の中核に位置する重点目標に見当をつけつつ, 取り組む課題のイメージを持つ。

⑤ 「本質的な問い合わせ(単元を貫く問い合わせ)」を明確にする。

⑥ その問い合わせに対してどのようなレベルの答えに達してほしい(「原理や一般化」についての「永続的理解」)を明文化する

### 2. 「本質的な問い合わせ」

生徒を永続的理解に導く, 単元を貫く問い合わせ

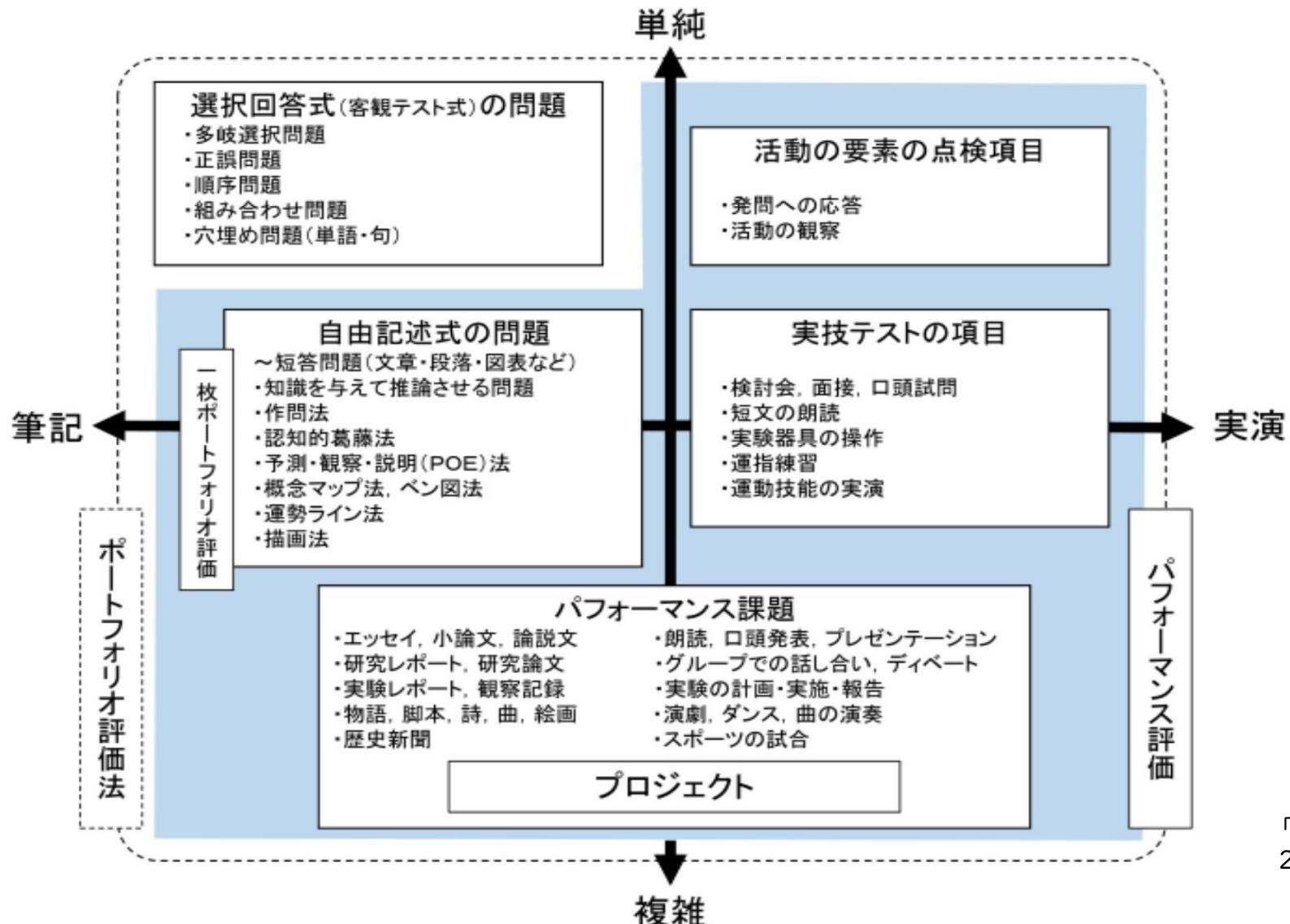
- どのような刺激的な問い合わせが, 探究, 理解, 学習の転移を促進するのか?

# 単元設計⑩ 本質的な問いと永続的理解(2)

島本一中(令和7年7月24日 校内研修ワークショップより 一部抜粋)

教科・学年	単元	本質的な問い	永続的理解
英語・第3学年	AI Technology and Language	なぜ関係代名詞thatは主語が人でもものでもいけるのか？	関係代名詞which/who/thatの使うそれぞれのルールを知り、文を使い分けることができる。
社会・第2学年	江戸時代の幕府政治の動き	財政問題を克服する時には、どのような政策が必要か？	経済や福祉のあり方は政治によって左右され、それによって私たちの生活も左右される。
国語・第2学年	敬語	なぜ人は敬語を使うのか？	敬語を使うことは、相手を尊重しながら円滑なコミュニケーションをとることに役立つ。
数学・第1学年		なぜ文字を使うのか？	文字は、数量の関係を一般的に表すことができる。数の代わりに文字を用いることで、「すべての場合」に共通するルールを表現することができる。さらに現実の問題を数式に翻訳した表現である。

# 単元設計③1 パフォーマンス課題とレーブリック(1)



「パフォーマンス課題」とは、  
知識やスキルを総合して使い  
こなす(活用・応用・総合す  
る)ことを求められるような課  
題で、実演(プレゼンテーシ  
ョン, ディベート, 演技, 演奏な  
ど)と作品の制作(レポート,  
論文, ポスターなど)である。

→ひとまとめのパフォーマン  
ス課題によって、高次の能  
力を可視化させ、直接的に評  
価する。

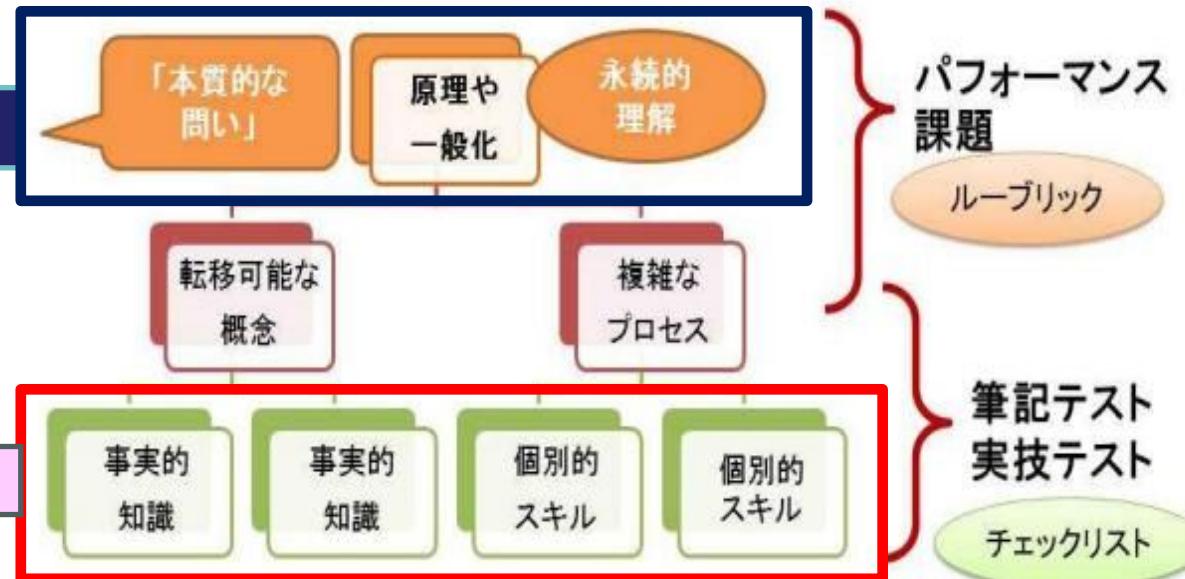
「資質・能力」を育てるパフォーマンス評価, 西岡加名恵,  
2016 より

# 単元設計③② パフォーマンス課題とループリック(2)

単元設計テンプレート(参考書式)

年度 所属	職名	名前
小学校・中学校・高等学校 学年 教科(科目)名		
単元(題材)名: 2学期に実践予定の単元(題材)を選んでください。 「見方・考え方」 単元(題材)のどちら方を、教科の「見方・考え方」に基づいて記入してください。		
単元(題材)目標 学習指導要領 (知識・技能) 学習指導要領解説化のための資料を参考に記入 【重点目標】 「本質的な問い」 生徒を永続的理解させるための ●どのような刺激		
評価の一 する参考 左に同じ 左に同じ 元の「本質的な問い」 を質問を設定する。 探究、理解、学習の転移を促進するのか? 【知識・スキル】 この単元で習得する必要がある事実的 知識や個別のスキルを箇条書きで記入 してください。 「永続的理解」 「永続的理解」を 生徒は、～ ●重大な概念は ●それについて ●どのような結果		
【パフォーマンス 評価方法】 【他の評価方法】		
【ループリック】 【チェックリスト】		

## 「単元設計書」と総括的評価課題(パフォーマンス課題)の作り方



(McTighe, J. & Wiggins, G., *Understanding by Design: Professional Development Workbook*, ASCD, 2004, p.65の図や、Erickson, H.L., *Stirring the Head, Heart, and Soul*, 3rd Ed. Corwin Press, 2008, p.31の図をもとに西岡作成。G・ウィギンズ／J・マクタイ、西岡加名恵訳『理解をもたらすカリキュラム設計——「逆向き設計」の理論と方法』日本標準、2012年も参照)

# 単元設計③ パフォーマンス課題とループブリック(3)

**ナフメのプランを紹介しよう**

携帯会社「シマパンク」が困っています。  
6人のお客様に、4つのプランからオススメのプランを考え紹介しましょう。

**4つのプラン**

- 使った分だけプラン  
基本料金 0円  
通話料 1分につき 8円
- かけ放題プラン  
どれだけ使っても 6000円
- キャッシュバックプラン  
基本料金 1000円  
通話料 1分につき 6円  
※ただし 3000円を超えると基本料金は返金
- 家族割プラン  
基本料金 1500円  
通話料 1分につき 10円  
※同居している家族割プランに入っている人が自分以外にいる場合、自分以外の人数につき 10%引き  
※1人での加入もOK

**6人のお客様**

Aさん 難易度★  
68歳 日々の楽しみは孫と毎日 10分電話をすること

Bさん 難易度★  
18歳 初めて自分で携帯を契約  
週5日で友だちと 1時間電話をしている

Cさん 難易度★★  
70歳 3世帯で暮らしている  
子ども2人と孫3人も同じプランにする予定  
町内会の人たちと週に1日1時間15分の電話をしている  
月にいくらかかるのか説明をお願いしたいとのこと

Dさん 難易度★★★  
19歳 一人暮らし大学生  
絶賛ホームシック中 平日5日間毎日20分実家に電話している

Eさん 難易度★★★★  
35歳 海外出張中  
土曜と日曜に日本にいる子どもと夜に2時間電話をしている

Fさん 難易度★★★★★  
48歳 妻も娘も同じプランにする予定。  
仕事で電話を毎日20分使っている  
家族で入るから家族割プランにした方がいいか相談をしている

**◎プランを考えるときの統一ルール**

- ①1か月は28日とする。(月曜日から日曜日までの7日間×4週)
- ②必ず他のプランと比べて紹介すること。
- ③数学を使うこと。(計算したりグラフを用いたりした場合は説明をどうやって用いたか説明しよう)
- ④注意点まで言おう。(これだけ使わないと損をするや使いすぎると違うプランがオススメですなど)
- ⑤スライドを作ろう。(10分で発表ができるように)
- ⑥説明だけでなく、見てわかるようにしてあげよう。
- ⑦スライドの内容
  - (1) タイトル
  - (2) お客様情報
  - (3) 各プランとの比較
  - (4) プラン使用時の注意点
  - (5) 結論
- ⑧発表時は全員が話せるように分担しよう。

**◎評価基準**

	A	B	C
思考・判断・表現	式やグラフ、表を用いてオススメのプランを複数用いて、数学的な視点からお客様に紹介することができている。	式やグラフ、表を用いてオススメのプランを数学的な視点からお客様に紹介することができている。	オススメのプランの紹介ができるいいない。
主体的に学習に向かう姿勢	班の生徒と協力してプランを考え、分かりやすいスライド作成を行い、発表に参加している。	プランを考えスライド作成を行い発表に参加している。	班活動に参加していない。

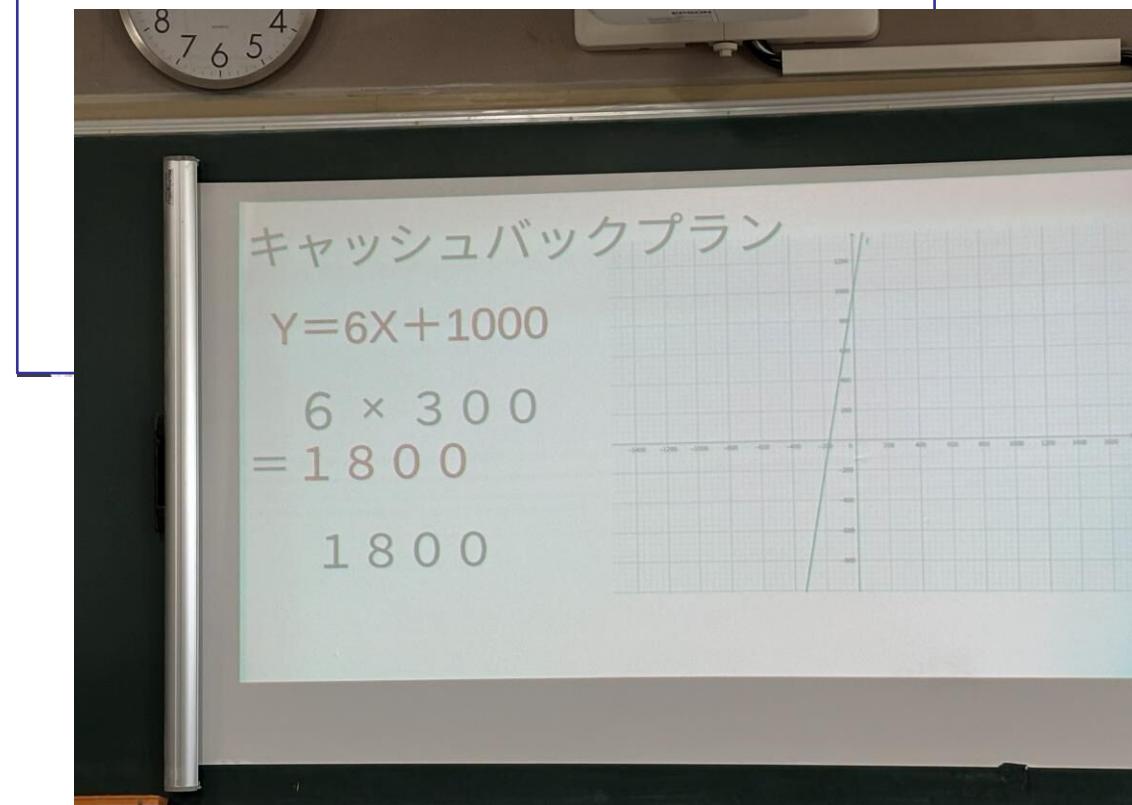
**◎今後の予定**

- ①課題把握・お客様の情報整理
- ②各プランと比較しよう (1)
- ③各プランと比較しよう (2)
- ④プラン使用時の注意点を考えよう
- ⑤スライド作成 (1)
- ⑥スライド作成 (2)
- ⑦中間発表
- ⑧修正・練習
- ⑨本番

早く進む班はどんどん次に進んでよし！  
早く進むほどスライドを作る時間が長くなる！  
全ての班が早く進んでいたら予定を繰り上げる場合もあります！(繰り上げていきたい！)

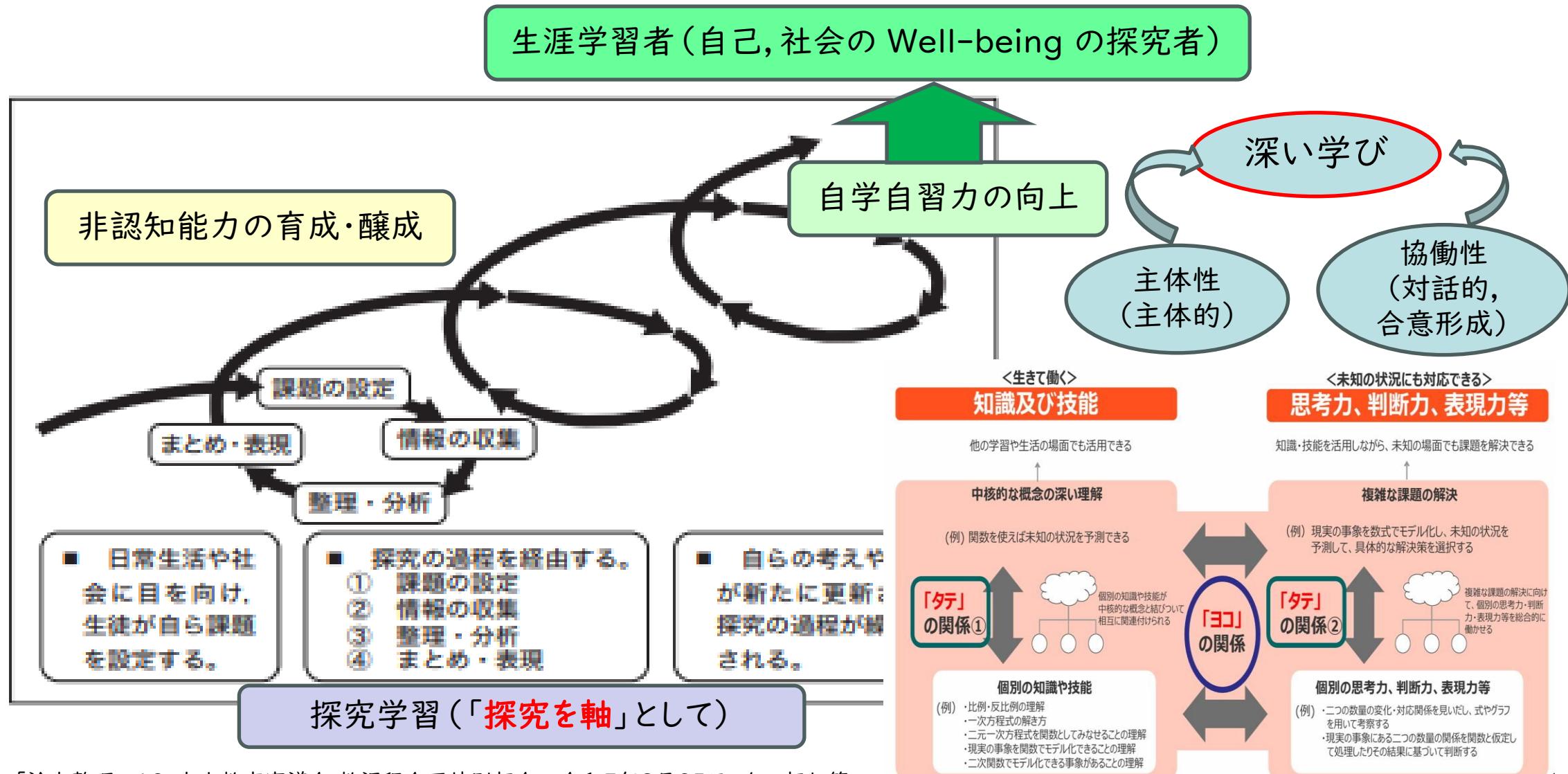
「オススメのプランを紹介しよう(島本町立第一中学校 宮田 勇進先生の実践)より」

# 単元設計④ パフォーマンス課題とレーブリック(4)



「オススメのプランを紹介しよう(島本町立第一中学校 宮田 勇進先生の実践)より」

## 「探究学習」及び「非認知能力」と「自学自習力」の構造



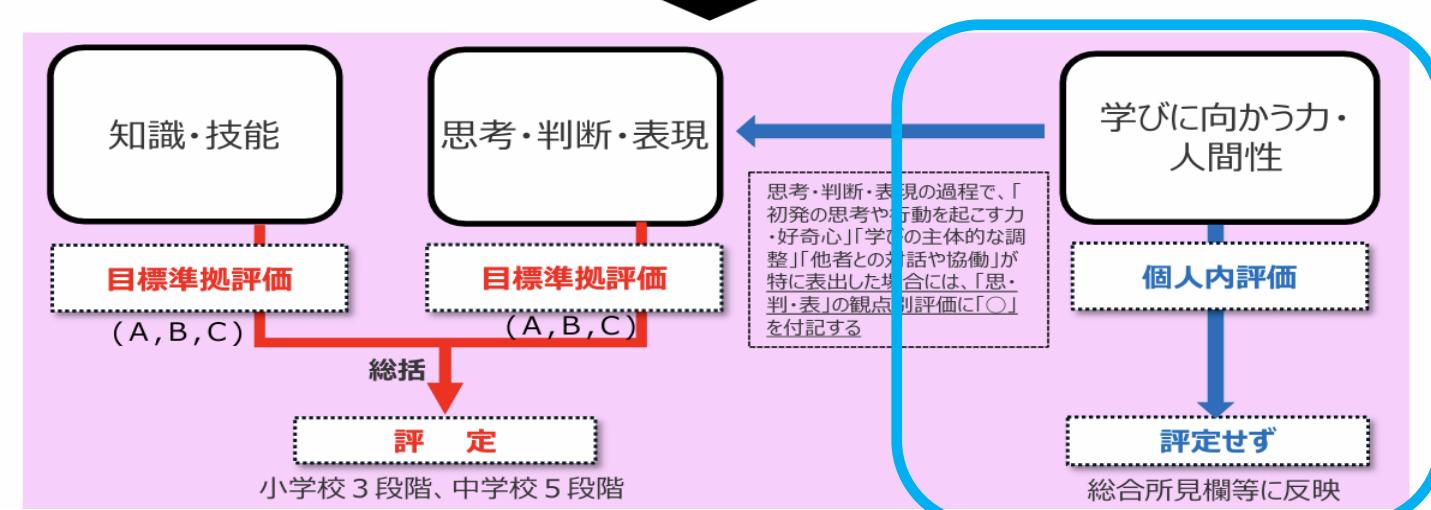
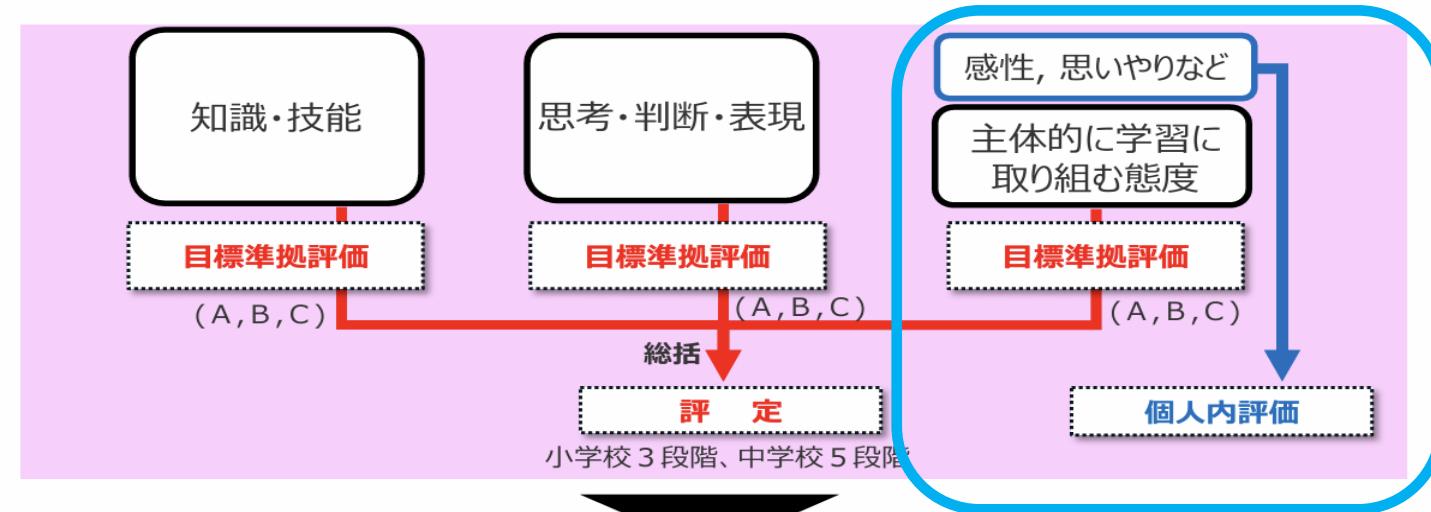
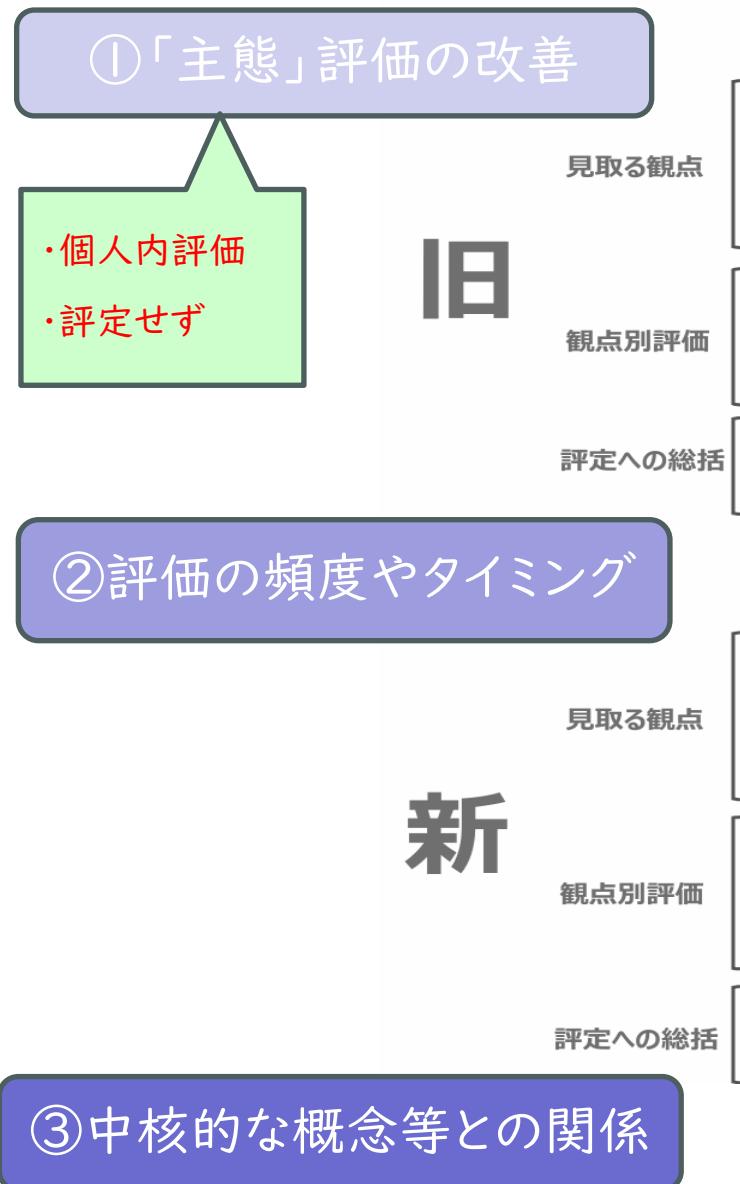
「論点整理 p.12 中央教育審議会教課程企画特別部会」令和7年9月25日を一部加筆

参考：「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示） 総合的な探究の時間編解説」文部科学省、平成 30 年 7 月 国立大学法人 大阪教育大学

# 学習評価の考え方と非認知能力の見取り

# 評価① 新たな観点別のイメージ(1)

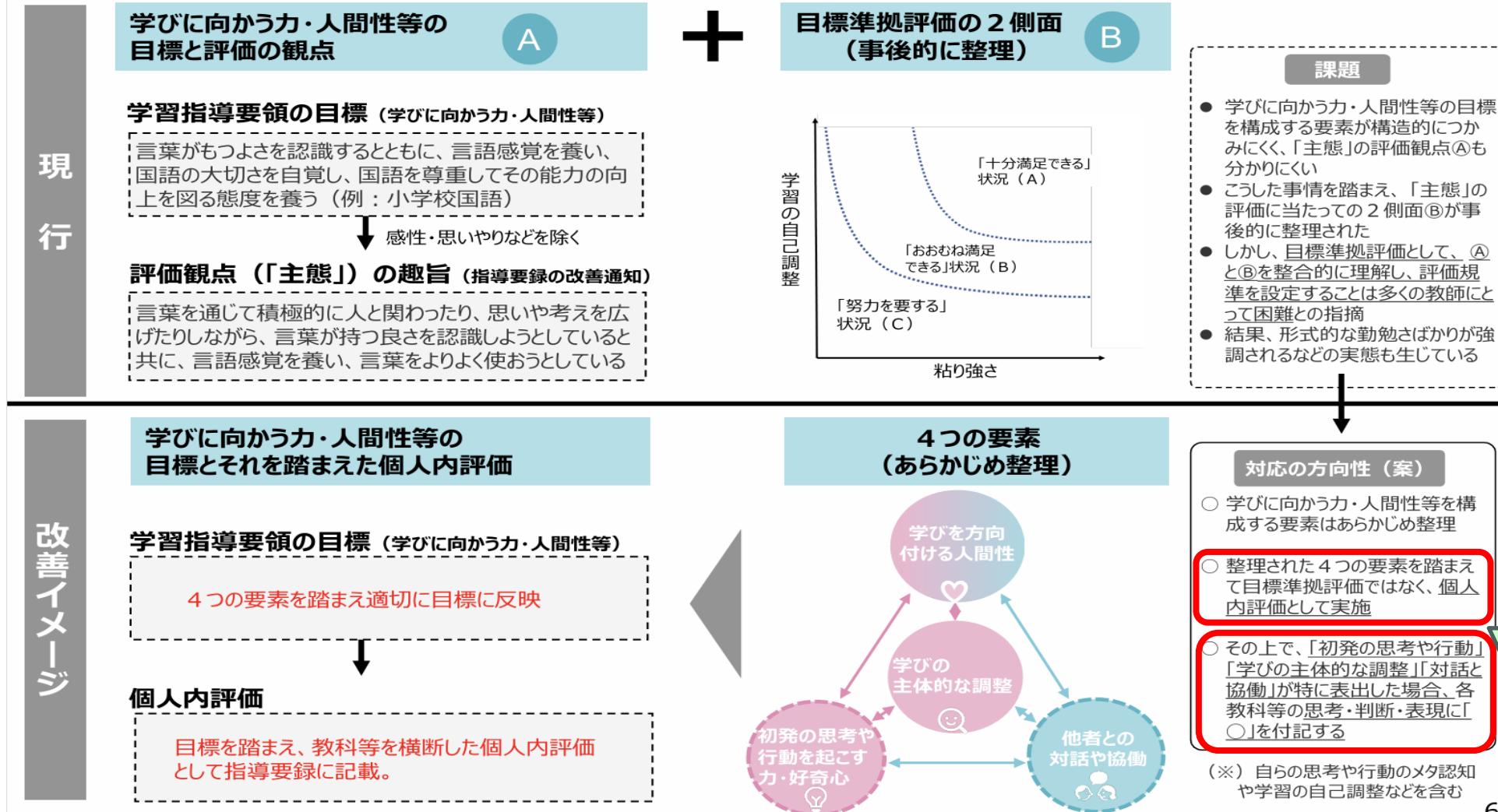
## 新たな観点別評価（イメージ）



「豊かな学びに繋がる学習評価の在り方（令和7年7月4日 教育課程企画特別部会）」より

# 評価② 新たな観点別のイメージ(2) (学びに向かう力・人間性等)

## 「主体的に学習に取り組む態度」の評価の改善イメージ



「豊かな学びに繋がる学習評価の在り方 (令和7年7月4日 教育課程企画特別部会)」より

# 評価③ 評価の頻度

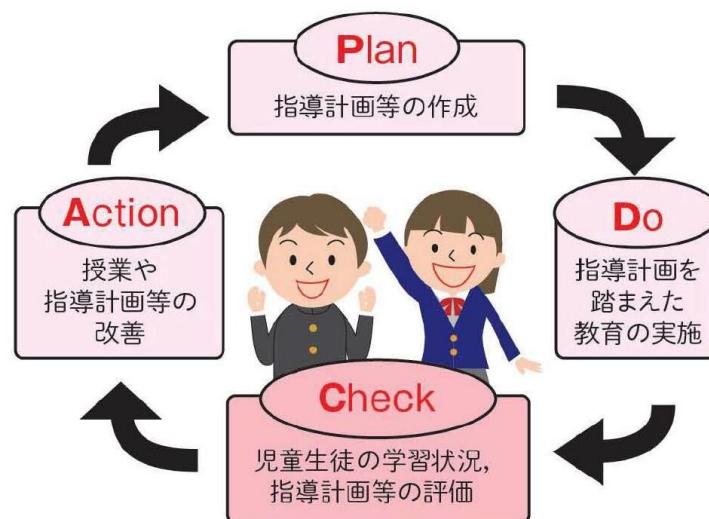
## Q1 1回の授業で、3つの観点全てを評価しなければならないのですか。

A. 学習評価については、日々の授業の中で児童生徒の学習状況を適宜把握して指導の改善に生かすことに重点を置くことが重要です。したがって観点別学習状況の評価の記録に用いる評価については、毎回の授業ではなく原則として単元や題材などの内容や時間のまとまりごとに、それぞれの実現状況を把握できる段階で行うなど、その場面を精選することが重要です。

### カリキュラム・マネジメントの一環としての指導と評価

各学校は、日々の授業の下で児童生徒の学習状況を評価し、その結果を児童生徒の学習や教師による指導の改善や学校全体としての教育課程の改善、校務分掌を含めた組織運営等の改善に生かす中で、学校全体として組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図っています。

このように、「学習指導」と「学習評価」は学校の教育活動の根幹であり、教育課程に基づいて組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図る「カリキュラム・マネジメント」の中核的な役割を担っています。



「学習評価の在り方ハンドブック」より



## 評価④ 評価計画(1)

教科:国語(中学校2年生)

単元:言葉の架け橋 ~“訳”の挑戦を探究する~

単元目標

- ・知識及び技能に関して
  - ・作品の特徴を生かして朗読するなどして,古典の世界に親しむ。(3)ア
  - ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むを通して,古典に表れたものの見方や考え方について知ることができる。(3)イ
- ・思考力,判断力,表現力等に関して
  - ・読み手の立場に立って,表現の効果などを確かめて,文章を整えることができる。B(1)エ
  - ・観点を明確にして文章を比較するなどし,文章の構成や論理の展開,表現の効果について考えることができる。C(1)エ
  - ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け,自分の考えを広げたり深めたりすることができる。C(1)オ
- ・学びに向かう力,人間性等に関して
  - ・言葉がもつ価値を認識するとともに,我が国の言語文化を大切にして,思いや考えを伝え合おうとする。

# 評価⑤ 評価計画(2)

## 4.評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア</li><li>・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方について知っている。(3)イ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。B(1)エ</li><li>・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。C(1)エ</li><li>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・古典に表れたものの見方や考え方を積極的に知ろうとし、学習の見通しをもって現代語の言語感覚とつなぎ合わせ、我が国の言語文化への理解を深めようとしている。</li></ul>

# 評価⑥ 評価計画(3)

## 5. 単元の指導計画(全25時間)

時間	学習内容	主な評価標準	評価の観点			評価方法
			知能	思考	態度	
1・2	・単元全体の確認をする。 ・シェル・シルヴァス泰因作「大きな木」(絵本)の本田錦一郎訳と村上春樹訳を読み比べ、共通点・相違点等を見出す。	同じ原文をもとにしても、訳者によって異なる訳がなされ、それにより読み手が受けける印象が異なることに気づいている。		●	●	ワークシート OPPシート*
3	漢文の訓読の方法について理解する。	訓点に基づき、訓読文を書き下し文にできている。	●		●	ワークシート OPPシート
4~6	「二千五百年前からのメッセージ—孔子の言葉—」より「学而」「顔淵」「為政」の内容を、教科書掲載の和訳を参照しながら、理解する。	読んで理解したことや学んだことを、自分の知識や経験と結びつける。		●	●	ワークシート OPPシート
7	「子在川上曰」(子罕第九)について、漢和辞典を用いて和訳する。	漢和辞典等で調べたことに基づいて、自分なりの和訳ができる。	●		●	ワークシート OPPシート
8・9	孔子やその弟子及び論語についての知識や孔子の生きた時代、古注・新注が生まれた時代等についての理解を深める。	今後の学習に繋げられるように、作品の周辺人物の人物像や時代背景について理解している。		●	●	ワークシート OPPシート

●…形成的評価(指導に活かす評価) ○…総括的評価(記録に残す評価)  
 ※OPPシート…一枚ポートフォリオ評価でもちいる。このシートに学習者が学習前・中・後の履歴を記録することで、学習や授業に関わる認知過程の実態を可視化され、形成的評価を図ることができる。

10・11	「子在川上曰」(子罕第九)の古注と新注とを比較し、解釈の妥当性について考える。	資料を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを持てている。		●	●	ワークシート OPPシート
12	歴史的仮名遣いの復習を行い、「枕草子」(「春はあけぼの」)を音読する。	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直し、音読することができている。	●		●	ワークシート OPPシート
13・14	「枕草子」(「春はあけぼの」)について、現代語訳をもとに理解し、「古今和歌集」から授業者が作成した資料と比較しながら、作者のものの見方や考え方をとらえる。	文章を読んで理解したことと資料から得た知識をもとに、自分の考えを表現している。		●	●	ワークシート OPPシート
15	「枕草子」(「うつくしきもの」)について、音読ののち、語注をもとに内容を理解する。	語注に基づき、本文の内容を理解している。	●		●	ワークシート OPPシート
16	「枕草子」(「雪のいと高う降りたるを」)について、音読ののち、示された語注ももとに内容を理解する。	語注に基づき、本文の内容を理解している。	●		●	ワークシート OPPシート
17・18	清少納言や「枕草子」が書かれた時代や書かれた意図について、資料を読み、理解する。	作品の周辺人物の人物像や時代背景について理解している。	●		●	ワークシート OPPシート
19	パフォーマンス課題の確認をしたのち、既習の「うつくしきもの」について、三種類の現代語訳(原文により忠実なもの・超訳的なもの・コミカライズされたもの)を読み、それぞれの印象を掴む。	パフォーマンス課題を意識しながら、それぞれの現代語訳の全体的なイメージをつかんでいる。	●		●	ワークシート OPPシート

大阪教育大学附属池田中学校 国語科 永井涼子先生の実践より

国立大学法人 大阪教育大学

## 評価⑦ 評価計画(4)

20 【本時】	既習の「春はあけばの」と「雪のいと高う降りたるを」のいずれかの章段についての異なる三つの現代語訳を精読し、その特徴や表現の効果等について考察する。	既習事項を関連づけて、担当の章段の現代語訳の特徴及び表現の効果について考察し、自分の考えを表現している。		●	●	ワークシート OPP シート	
21・22	前時の考察について全体で共有し、「古典」が読み継がれるために必要なことを考える。	三種類の現代語訳について、前時に示した観点から、自分の考えを深めている。		●	●	ワークシート OPP シート	
23	パフォーマンス課題に取り組むにあたり、実際の書評を読み、表現や構成の工夫について考える。	読み手を意識した表現や構成について考察し、自分の考えを深めている。		●	●	ワークシート OPP シート	
24~25	パフォーマンス課題(書評)に取り組み、完成させる。	読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章・紙面を整えている。		○	○	○	ワークシート OPP シート 書評【パフォーマンス課題】

●…形成的評価(指導に活かす評価) ○…総括的評価(記録に残す評価)

※OPP シート…一枚ポートフォリオ評価でもちいる。このシートに学習者が学習前・中・後の履歴を記録することで、学習や授業に関わる認知過程の実態を可視化され、形成的評価を図ることができる。

定期テストも総括的評価(記録に残す評価)に加える。

(知識・技能、  
思考・判断・表現)

## 評価⑧ 評価計画(5)

本单元のパフォーマンス課題として、書評家になり切って書評を書くという言語活動を行う。具体的には、授業者が提示した「枕草子」の三種類の現代語訳を読み比べ、それぞれの現代語訳が原文の意図や雰囲気をどの程度反映しているのか、意図や雰囲気を十分に伝えきれていない点があるとすれば、それはどのような点なのか、といったことについて考察し、読み比べた物の中から一冊を選び、書評を書くという活動を行わせる。

Goal (目的)	枕草子を読んでみたいと思わせるような書評を書く。
Role (役割)	書評家
Audience (相手)	書評雑誌の読者
Situation (状況)	出版社に「今古典がおもしろい！」というテーマで、人々が古典に親しめる本を紹介する原稿の執筆を依頼された。
Product (作品)	書評 (A4 サイズ 見開き 1 ページ)
Standard (評価の観点)	<ul style="list-style-type: none"><li>紹介する本に使われている言葉や文体、表現等について、適切な指摘ができるか。</li><li>自分の考えを論理的に説明するのに適した構成になっているか。</li><li>読み手を意識した作品になっているか。</li><li>適切な言葉を使用し、正しい文法で書けているか。</li></ul>

指導者としての  
「思い」「願い」

この活動を通じて、生徒たちには、訳はあくまで訳であるため、原文の意図を伝えきれなかったり、場合によっては誤った印象を与えることがあるかもしれないことを理解させた上で、それでも訳があることで文学作品は長く広く読み継がれる可能性があることを認識させたい。そして、自分の言語文化にも、異なる言語文化にも、親しみ、尊重する態度を育てたい。また、作品は読み手を意識して作られていることを理解させ、今後の自分の創作活動につながる表現力を育てたい。

# 評価⑨ 非認知能力の見取り(1-1)

## 評価 (OPPシート自己評価)

探究的な数学の学習「どのような考え方を使えば自然界の模様を紐解いていくのだろうか(中1)」大阪教育大学附属池田中学校 井場恒介先生の実践より

単元を通しての学習者の変容

学習前

『図形とはなんですか?』について、あなたの知っていることを書いてください。

線で囲まれたものの形が「図形」。

様々な方法で姿を変え、身の回りに密かに溢れている図形を見つけ、その性質、そして本質を探求していくのが「図形」という授業なのかな、と。または、数学的な見方で図形を見ると、こういった気づきがあるよ、という着眼点を教える科目でもあるのかもしれない。

学習後

『図形とはなんですか?』について、あなたの知っていることを書いてください。

もともと世界に存在していたありとあらゆる形を、性質や形式の種類ごとにパターン分けし、各パターンに名前をつけたその概念が「図形」なのだと思う。。つまり、世界の1つの捉え方が「図形」という概念を生み出しているのだということ。だから「図形」の性質を学び探求することで、今まで知らなかつた世界を知り、もっと良い世界のために活用することができるのだと思う。

そう考えると、図形の授業は、この世界にあふれるありとあらゆる形を知り、理解し、探究することによって、新しい世界の捉え方を学び、よりよい世界のために活用する術を発見する授業なのだろう。多分それを繰り返すことによって、科学技術など、人間によって生み出されたものが発展していくのだと思う。

学習を振り返って(自己評価)

学習前・中・後を振り返ってみて、何がわかりましたか?また、今回の学習を通してあんたなは何がどのように変わりましたか?そのことについてあんたはどう思いますか?感想でも構いませんので自由に書いてください。

学習前は、「図形の授業で新しい図形の見方を学ぶ」のだと思っていた。しかし学習後では、「図形の授業で図形を学び、それを活かして世界に貢献することができる」という考え方になっている。そのことから、この授業を通して、図形についての知識を「広げ、活かす」という考え方を身につけていくことがわかった。実際、学習中のOPPシートを見ると、「図形の本当の意味」についての気づき→「図形を活かすことの大切さ」というように内容が移り変わっている。

また、今回の総括的評価課題でもあった「AED新設地点特定までの手順」のように、今まで習った知識を理論的にまとめ、整理する、という作業を通して、物事を論理的にまとめ考えるという力もつけることができた。

疑問に思ったことや、考えたことは何ですか

ボロノイ図を発見した人は、いつ、どこで、どのようなきっかけがあつて気づいたのだろうか。

数学 OPP シート

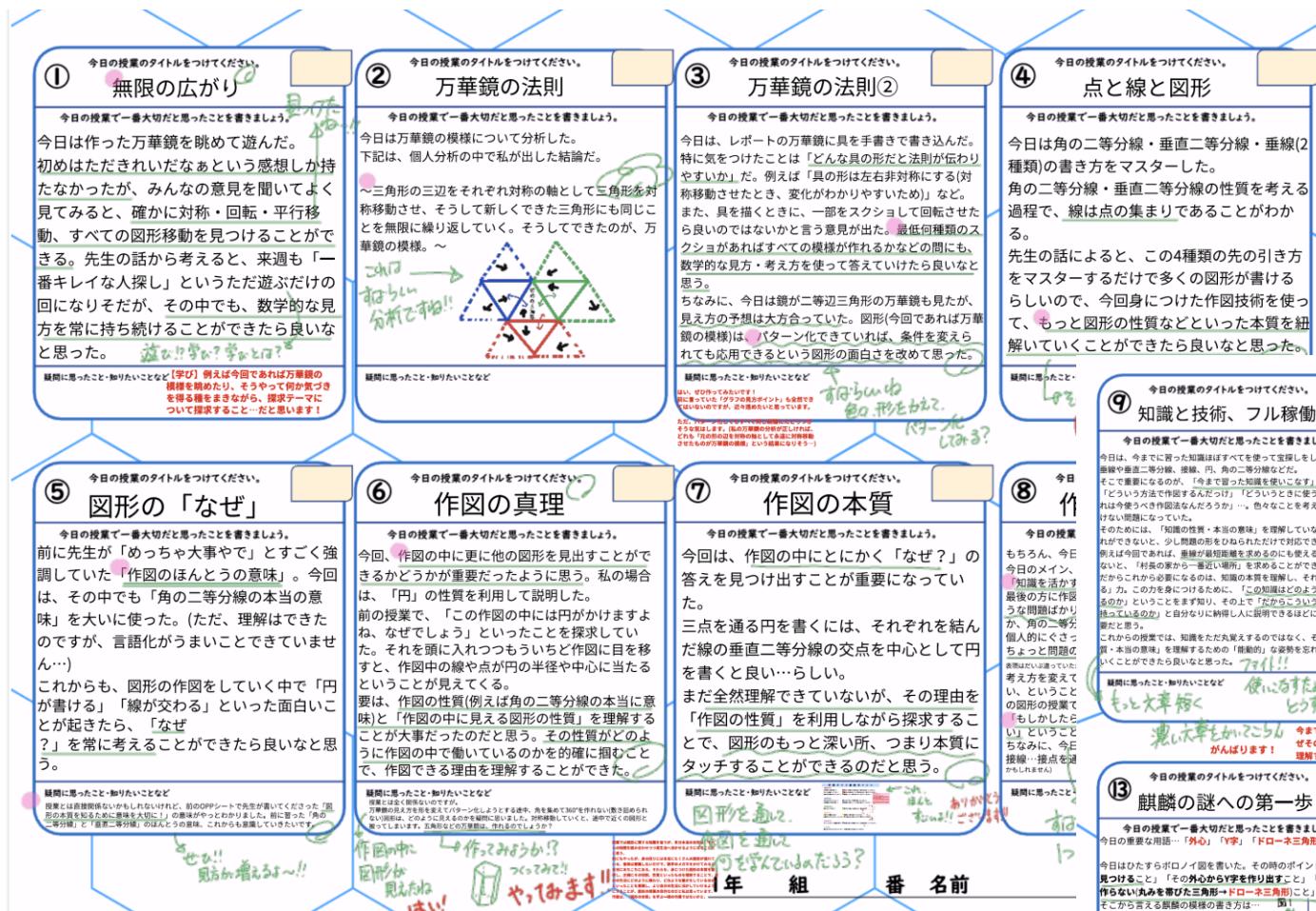
5章 平面図形

●探究テーマ●  
人工物や自然界など、身の回りにある図形の形式をパターン化して捉え、モデル化することは、科学技術の革新につながる。  
【概念的な問い】どのような考え方を使えば、自然界の模様を紐解いていくの?  
【議論的な問い】すべての身の回りの模様をモデル化することは、どの程度、科学技術の革新につながるか。  
(ATL) 情報を理論的にまとめ、描写する(コミュニケーション)  
議論を形成するために関連する情報を集め、整理する(批判的思考スキル)

→社会や生活に生み出すことのできる学び方  
最高です!!  
続けよう!!

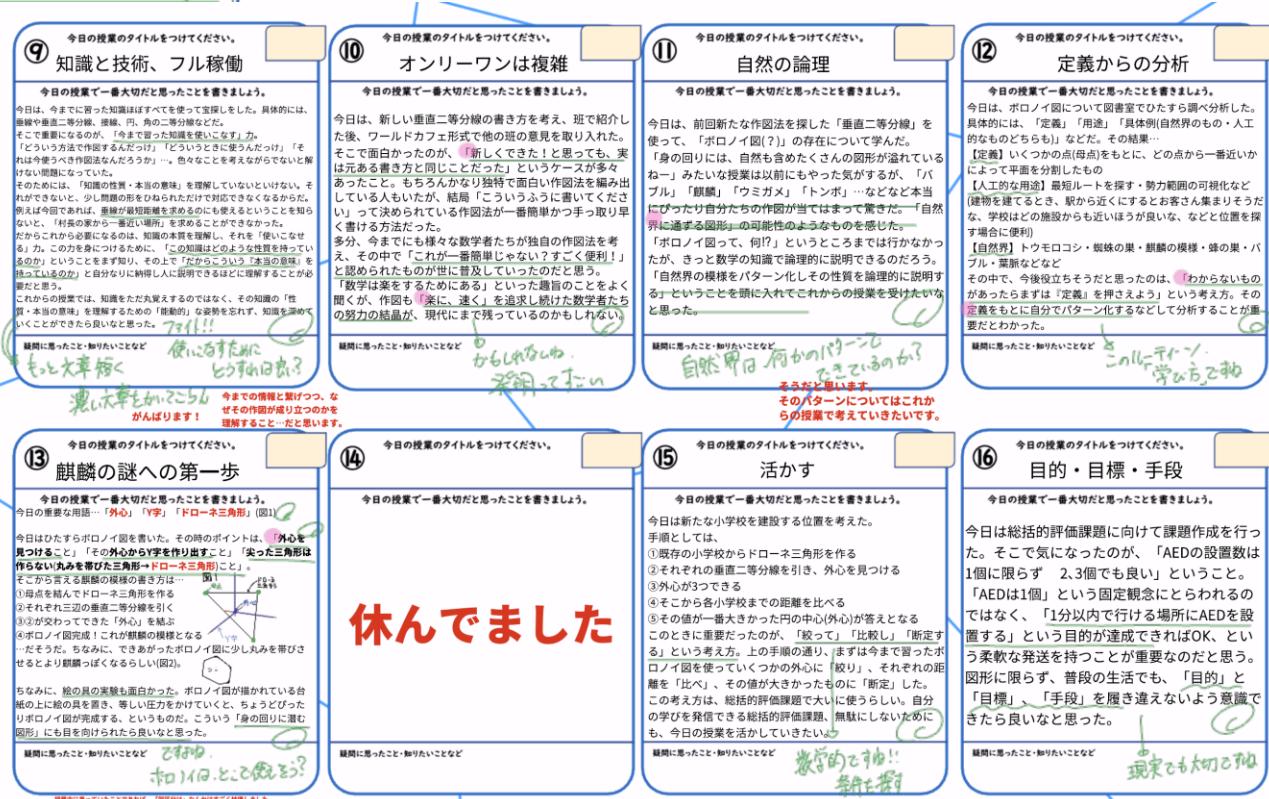
1年 組番  
名前 \_\_\_\_\_

# 評価⑩ 非認知能力の見取り(1-2)

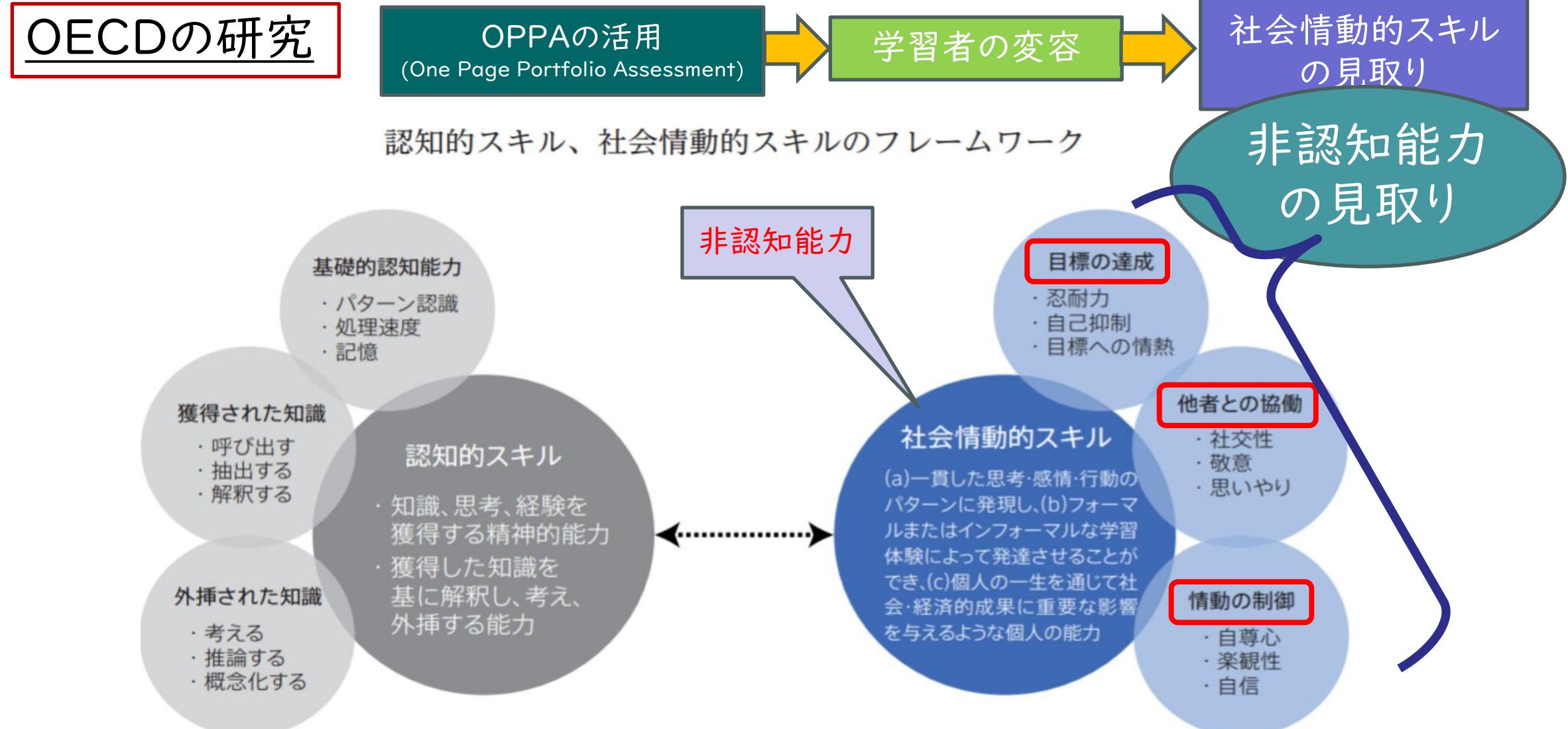


探究的な数学の学習「どのような考え方を使えば自然界の模様を紐解いていくのだろうか(中1)」大阪教育大学附属池田中学校 井場恒介先生の実践より

## フィードバックの重要性! (形成的評価)



# 評価⑪ 非認知能力の見取り(1-3)



出典：OECD(2015)

島本一中授業研究会資料(令和6年12月6日)より

国立大学法人 大阪教育大学

## 評価⑫ 非認知能力の見取り(1-4)

非認知を見取るプロンプトと分析結果（試案③）

# 分析・整理 + 伸長ワードの抽出 + 学習者へのサポート(アドバイス)

添付された文書（OPPシート等の振り返りシート）から、非認知能力に関してポジティブに見取れる部分を3つのカテゴリに分けて、それぞれの学習前・学習後の変化や自己評価の内容、2枚目の記述も踏まえて分析・整理してください。また、それについて、3つのカテゴリの何が伸長したのかも記述してください。加えて、今後の学習に対する取組アドバイスも最後に示してください。

# 3つのカテゴリ

1. 目標の達成（忍耐力、自己抑制、目標への情熱）
2. 他者との協働（社交性、敬意、思いやり）
3. 情動の制御（自尊心、楽観性、自信）

※ 非認知のカテゴリは、社会情動的スキル（OECD,2015）を参照

※ 生成AI “Copilot” を活用。回答は筆者が編集

# 評価⑬ 非認知能力の見取り(1-5)

## I. 目標の達成(忍耐力,自己抑制,目標への情熱)

### ①-1 学習前の様子

- ・「図形の授業で新しい図形の見方を学ぶ」と捉えており、知識の習得が目的だった。
- ・作図や図形の性質に対する理解は断片的で、目標への情熱は限定的。

### ①-2 学習後の変化

- ・「図形を活かして世界に貢献する」という視点に変化し、学びの目的が社会的意義へと広がった。
- ・「目的・目標・手段を履き違えないようにする」といった柔軟な思考が育まれ、自己抑制力が向上。
- ・「知識の本質を理解し、使いこなす力が必要」と認識し、目標達成への情熱が高まっている。

### ②自己評価の内容

- ・「図形の知識を広げ、活かす」という姿勢が定着。
- ・「論理的にまとめ、整理する力がついた」と自己評価しており、忍耐力と計画性の向上が見られる。

### ③2枚目の記述からの補足

- ・「作図の中に円が見える理由を探る」「転移スキルを意識する」など、深い探究心と継続的な努力が見られる。

### ④伸長した要素：目標への情熱と自己抑制

# 評価⑯ 非認知能力の見取り(1-6)

## 2. 他者との協働(社交性, 敬意, 思いやり)

### ①-1 学習前の様子

- ・個人の気づきや分析が中心で、協働的な学びは限定的だった。

### ①-2 学習後の変化

- ・「ワールドカフェ形式で他の班の意見を取り入れた」「みんなの意見を聞いてよく見てみると」など、他者との協働が活発化。
- ・「新しい作図法を考え、紹介し合う」など、社交性と敬意をもって学び合う姿勢が育まれている。

### ②自己評価の内容

- ・「自分の学びを発信できる総括的評価課題に活かしたい」と記述しており、他者との協働を通じた自己成長が見られる。

### ③2枚目の記述からの補足

- ・「自然界の模様をパターン化し、論理的に説明する」など、他者の視点や社会的文脈を取り入れた学びが進んでいる。

### ④伸長した要素: 敬意と思いやり

# 評価⑯ 非認知能力の見取り(1-7)

## 3. 情動の制御(自尊心, 楽観性, 自信)

### ①-1 学習前の様子

- ・図形に対する興味はあるものの、「言語化がうまくできない」など、自己表現に不安が見られた。

### ①-2 学習後の変化

- ・「図形の面白さを改めて思った」「本質にタッチできた」といった記述から、自信と楽観性が育まれている。
- ・「知識の性質・本当の意味を理解し、人に説明できるほどに理解することが必要」と、自尊心の高まりが見られる。

### ②自己評価の内容

- ・「図形の知識を使って世界に貢献できる」と捉え直し、自己効力感が向上。
- ・「図形の授業の目的は、生活に活かすこと」と認識し、前向きな姿勢が定着。

### ③2枚目の記述からの補足

- ・「自然界に通ずる図形の可能性を感じた」「麒麟の模様の書き方を論理的に説明」など、自信をもって探究する姿勢が見られる。

### ④伸長した要素: 自信と楽観性

# 評価⑯ 非認知能力の見取り(1-8)

## ◎今後の学習への取り組みアドバイス

### 1. 転移スキルの強化

今までの知識を新しい問題に応用する力が育まれているので、「この場面で使える知識は何か?」を意識する習慣を続けましょう。

### 2. 意味の探究を継続する

「なぜその作図が成り立つのか」「その性質は何か」といった問い合わせを持ち続けることで、知識が深まり、論理的思考力がさらに伸びます。

### 3. 協働的な学びの場を活かす

他者の視点やアイデアを積極的に取り入れることで、より広い視野と柔軟な思考が育れます。ワールドカフェ形式などの活動を大切に。

### 4. 自己表現の練習

自分の気づきや考えを言語化する力は、学びの質を高める鍵です。図形の性質や意味を「誰かに説明する」つもりで整理してみましょう。

# 評価⑯ 非認知能力の見取り(2-1)

歴史：江戸時代の幕府政治の動き 学び実感プリント

教科書 P.128-133

2組

単元を貫く問い合わせ

★財政問題を克服する時には、どのような政策が必要だろう？ 少子高齢化を解消する手

単元「江戸時代の幕府政治の動き」評価基準

思考・判断・表現

S. Aに加えて、その内容が優れている。

(教科書の内容に留まらない)

A. 単元の学習を十分に踏まえて、「経済の発

展」と「福祉の充実」のどちらを重視するべきか、自らの主張とそう判断した理

主体的に学習に取り組む態度

S. Aに加えて、その内容が優れている。

(自分なりの工夫が見られる、気付きや疑問が鋭いなど)

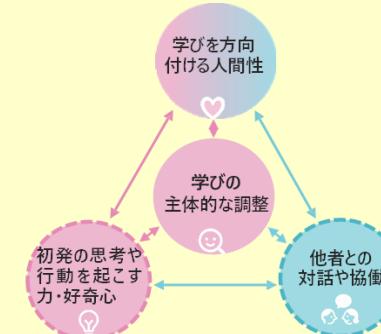
A. 学び実感プリントが完成しており、十分に毎回の授業内容をまとめたり、自ら

## ○「学びを方向付ける人間性」を見取る

- ・初発の思考や行動
- ・学びの主体的な調整
- ・対話と協働

※「豊かな学びに繋がる学習評価の在り方（令和7年7月4日 教育課程企画特別部会）」を参照。

※生成AI “Copilot” を活用。回答は筆者が編集



【4 松平の政治】①どんな政策を行ったか②経済、福祉はどうに変わったか  
③止は重視されなかつ  
④寛政の改革といふ、きちんと備えて米をたくさんこせたり、併約を  
めたりして農業を重視する政策で福祉を発展させた、いた。⑤既存の  
反対に、作ったものが危険にあれば、とにかく止めさせて、経済は辰辰に、福祉は發展  
いた。

単元を貫く問い合わせ

★財政問題を克服する時には、どのような政策が必要だろう？ 財政問題を解決するには、経済の発展より、福祉の充実の方が大切だと思う。理由は、今だ  
けで見たら経済の発展が「大切だ」と思うかもしれないが、辰に目で見た福  
祉の充実の方が重要になっていくと思つたら、また、もし経済の発展を重視している  
と云ふ太災害が起きたら、有能な人は辰川に「うやうやしくは困る」、その貧富の差が浮  
いてしまふかモレかねないから。でも、経済の発展を重視している人へ「貧乏が金  
を持ったら、米をたくさんこせることでできる」という意見にとても納得した。行なったら、福

せ、経済の発展に促したり、併約や農業を重視させ、福祉の充実  
を実現するための政策をたたけたなどの解決策がわかることを知った。  
でもこの経済と福祉は両立するのか難しく、江戸時代では「経済」を重視する政治  
と「福祉」を重視する政治が大きく違ひが生まれていた。でも結局はバランス良くするのが良いと思ふ。  
その他、疑問点やもっと知りたかったこと、感想などがあれば書いてください。

なぜ、江戸時代の人は、経済か福祉かと大いにかけたようだ  
政治を行っていたのだう、どちらもバランスよくしようという案がな  
ど生まれたのだうと思つた。しかしながらこの時代なりの問題点  
があり、両立が難しかったのかとも思つた。でも昔にこんなに本腰端なこ  
とをしてから今の政治が遙かにいいのかなども考えたので、この出来事で学んだ  
ことを多く学ぶのがなんと感じた。

# 評価⑯ 非認知能力の見取り(2-2)

## 1. 初発の思考や行動

### ★抽出された内容

- ・「財政問題を克服する時には、どのような政策が必要だろう?」という問い合わせに対して、「少子高齢化を解決する」「福祉の充実の方が大切」と自分の考えを明確に記述。
- ・「経済の発展を重視しているときに、大災害が起きたら…貧富の差が争いにつながるかもしれない」と社会的影響を想像。

### ★分析

初発の思考において、自分の生活や社会の現状と歴史的課題を結びつけて考える力を發揮しています。単なる知識の暗記ではなく、「今の社会にとって何が大切か」という価値判断を含んだ思考が見られ、これは人間性の根幹である「倫理的・社会的感受性」の表れです。

## 2. 学びの主体的な調整

### ★抽出された内容

- ・「この単元を学習する前は財政問題についても何も知らなかった」と自己認識を示し、「経済と福祉は両立するのが難しい」と学習を通じて得た気づきを記述。
- ・「でも結局はバランス良くするのが良いと思う」と、学習を通じて自分の考えを調整。

### ★分析

学習を通じて自分の考えを更新し、より複眼的な視点を獲得している点が高く評価できます。これは「メタ認知的な調整力」の発揮であり、学びを単なる情報取得ではなく、自己の価値観や判断力の成長につなげている証です。

# 評価⑯ 非認知能力の見取り(2-3)

## 3. 対話と協働

### ★抽出された内容

- ・「経済の発展を重視している人へ『みんながお金を持ったら、米をたくわえることもできる』という意見にとても納得した」と、**他者の意見に触れた記述**。
- ・「なぜ、江戸時代の人は経済か福祉かを天びんにかけたような政治を行っていたのだろう」と、**歴史的背景に対する問い合わせを立てている**。

### ★分析

他者の意見に耳を傾け、納得したことを率直に表現している点は、**対話的な姿勢の表れ**です。また、歴史的な文脈に対して疑問を持ち、背景を探ろうとする姿勢は、協働的な探究の出発点となります。これは**「共感的理解」と「探究的対話力」**の萌芽といえます。

## ◎今後の学習に対する取組アドバイス

観点	アドバイス
思考の深化	歴史的事象を現代社会と照らし合わせて考える力があるので、今後は「なぜその政策が選ばれたのか」「他にどんな選択肢があったのか」といった因果関係や選択の背景をさらに掘り下げるといでよう。
主体的な調整	自分の考えを変化させる力があるため、今後は「複数の立場からの見方」を意識して、対立する意見を比較検討する力を育てていくと、より説得力のある主張ができます。
対話と協働	他者の意見に納得する姿勢があるので、グループでの議論や共同探究の場で「問い合わせを共有する」「他者の視点を取り入れる」ことを意識すると、より深い学びにつながります。

## 評価② 非認知能力の見取り(3-1)

## 探究課題

3年組番名前

## 「新しいものとつくりについて探究する」



本日の探求テーマ: 今日の授業で探究する課題設定	月 日( )	本日の探求テーマ: 探掘り	月 日( )	本日の探求テーマ: 中間発表を行う	月 日( )
テーマの背景と目的:	テーマの背景と目的: 中間発表に向けて取り組んでいます。				テーマの背景と目的: 本番に向かって、小西先生に
今日のテーマが設定された経緯と理由	いつまでも改善する部分を改善していく。				作業をどうぞ改善していく。
経過と現状:	経過と現状: 課題はなくまとめていく。解決策				経過と現状:
課題設定に至った話の流れと現在の状態	これまで考え方を変えていきました。				あると解く
	本日の探求テーマ: 中間発表を行う				本日の探求テーマ: 中間発表
	月 日( )				月 日( )

- 「自ら考え判断し行動できる、違いを理解し自他を尊重する子ども」を見取る

  - 1.【自己表現力】自分の意見をつくる力・感じたことを自分なりに表現する力
  - 2.【課題探究力】チャレンジする力・学ぶ力
  - 3.【社会参画力】他者を意識する力・人を大切にする力・人と関わる力



※「みづまろキッズプラン～遊びと学びをつなぐその先へ～（令和6年3月島本町教育委員会）」を参照  
※ 生成AI “Copilot” を活用。回答は筆者が編集



爲せば成る爲さねば成らぬ何事も 成らぬは人の爲さぬを

探究課題を通して身に着けた資質・能力や課題を通して見出した発見や今後の自身の課題など 10月 28日(火)

昨年度の探究課題題では、自分一人で考えるor先生からアドバイスをうけて自分の課題を改善してきた。今年度では一人で行き渡り、自分が思っているだけではなくて視野を広げたりしてきていた。一人で作る時は自分の考えをうなげていて、だから自分に対するアドバイス等は自分の意見をうなげてもらえて良かった。これから自分の意見を伝える機会が増えると思うと、同時に自分の意見を見直す機会が増える。よく先生が言っていた通り、いつも計画性がなく、計画をしきりに立て、めぐらしく行動で進むのが私の課題だ。

# 評価②1 非認知能力の見取り(3-2)

## I. 自己表現力（自分の意見をつくる力・感じたことを自分なりに表現する力）

### ★抽出された内容

- ・「自分の意見をグループの人達に伝わるように説明するのがむずかしかった」と振り返り、**自分の考えを伝えることへの課題意識**を持っている。
- ・「自分の意見に偏りがないか、よく考えて発言したい」と**今後の発言に対する姿勢を明確**にしている。

### ★分析

自分の考えを言語化することの難しさを実感しながらも、**それを乗り越えようとする意志**を持っています。これは、自己表現力の発達過程において非常に重要な気づきであり、「伝える力」だけでなく「伝わる力」への意識が芽生えている証です。

## 2. 課題探究力（チャレンジする力・学ぶ力）

### ★抽出された内容

- ・「ターゲットがあいまい」「提案がごちゃごちゃしている」など、**課題の構造的な問題点を自ら発見**。
- ・「各自違うスライドを改善する」「課題を各自さがしてくる」など、具体的な行動計画を立てている。
- ・「計画性がなく、計画をしっかり立て、ゆうをもって行動できていないのが私の課題」と**自己分析**。

### ★分析

探究活動の中で、**課題の本質に迫ろうとする姿勢**が随所に見られます。特に「曖昧さの整理」や「改善案の立案」など、課題に対して能動的に取り組む姿勢は、探究力の核となる**「構造化する力」「改善する力」**が育っていることを示しています。

## 評価② 非認知能力の見取り(3-3)

### 3.社会参画力(他者を意識する力・人を大切にする力・人と関わる力)

#### ★抽出された内容

- ・「4人で行うことで、自分が思いつかないような意見が出て、視野を広げることができた」と協働の価値を実感。
- ・「ブキム(不器用)のおかげで自分の意見をより深く考えることができた」と、他者との違いを受け入れ、学びに変えていく。

#### ★分析

他者との関わりの中で自分の視野が広がることを実感しており、違いを尊重する姿勢が育まれています。特に「不器用な仲間の存在が自分の思考を深めるきっかけになった」という記述は、協働の本質を理解している証であり、社会参画力の成熟が見られます。

### ◎今後の学習に対する取組アドバイス

観点	アドバイス
自己表現力	自分の意見を伝える力が育っているので、今後は「相手の立場を想定した説明」や「図や例を使った補足」など、伝え方の工夫を意識するとさらに効果的です。
課題探究力	課題の構造を見抜く力があるため、今後は「仮説を立てて検証する」「複数の視点から評価する」など探究の論理性を高める活動に挑戦するとよいでしょう。
社会参画力	他者との違いを受け入れる力があるので、今後は「異なる価値観をつなぐ役割」や「対話を促進するファシリテーター的な立場」に挑戦すると、より深い協働が可能になります。

さいごに

# さいごに

- ・探究学習を通じて,自己・社会の Well-being の探究者である生涯学習者を育む。  
→「行動力」から「新たな価値観の創出」できるしきけ
- ・「探究を軸」にした单元設計,授業設計  
→「逆向き設計(目標→評価→計画)」  
→「单元を俯瞰する」教科書の配列にこだわらない。  
→「児童・生徒の主体性」ファシリテーターとしてのスタンス
- ・子ども(幼児・児童・生徒)は「優秀な学び手」知的好奇心であふれている  
…「みづまろキッズプラン」の概念の有効活用
- ・先進技術(生成AIなど),先導的な研究の有効活用
- ・学校(チーム)としての「目標」「評価」「計画」の共通認識,そして何よりも「協働性」